

リァホナ

慎み深い文化を築く,
14ページ

なぜ道徳的に清くあるべきか,
6ページ



リアホナ



表紙

表紙—写真/クレグ・ダイヤモンド、
裏表紙—写真/スティーブ・パンダー
ソン。表紙と裏表紙の写真の人物は
記事の登場人物本人ではありません。
「すべての善良で美しいもの」14ペ
ージ参照。



「フレンド」表紙

「わたしはかみの子」4ページを見ましょ
う。



6ページ参照

一般

- 2 大管長会メッセージ—家庭の夕べ
大管長 ゴードン・B・ヒンクレー
- 14 すべての善良で美しいもの ジャン・ピンボロー
- 20 的のかなたに目を向ける 七十人 クエンティン・L・クック
- 25 家庭訪問メッセージ—家族を霊的に強め、備える
- 32 若い女性から扶助協会へ キャサリン・ルーベック・ピーターソン
- 38 イエスの言葉—謙遜 七十人 アトス・M・アモリム
- 42 末日聖徒の声
現代の奇跡 ニトカ・シルビア・カリスト
家族による集中治療 パメラ・スティーンヘク
決してあきらめない ジェーン・ラカヨ
宣教師としての新生活 ロバート・A・ヘーグ
- 48 「リアホナ」2003年3月号の活用法

青少年

- 6 清くあるべき理由 十二使徒定員会 ニール・A・マックスウェル
- 13 アイデアリスト—真の友になる方法 クリスティ・マクレーン
- 19 真の美しさ ロザリン・コリングズ
- 26 福音クラシック—「今日」という日に
副管長 N・エルドン・タナー
- 30 家族についての本音 スコット・ビーン
- 47 御存じでしたか？

フレンド

- 2 預言者の声—道
第一副管長 トーマス・S・モンソン
- 4 分かち合いの時間—わたしはかみの子
ビッキー・F・マツモリ
- 6 エミリーおばあさんのめんどり サラ・ルイス
- 9 ちいさなみんなのために—天のお父さまとすんでいた時
パット・グラハム
- 10 新約聖書ものがたり—ゲツセマネのそのでくするしまれるイエス
- 14 小さなお友だちへ—覚えておきなさい
七十人 ウォルター・F・ゴンザレス長老
- 16 しんでんカード



14ページ参照

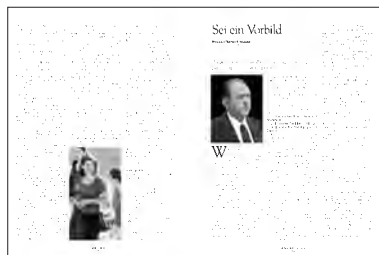
末日聖徒イエス・キリスト教会公式機関誌(日本語版)
大管長会:ゴードン・B・ヒンクレー, トーマス・S・モンソン, ジェームズ・E・ファウスト
十二使徒定員会:ボイド・K・パッカー, L・トム・ベリー, デビッド・B・ヘイト, ニール・A・マックスウェル, ラッセル・M・ネルソン, ダリン・H・オークス, M・ラッセル・バラード, ジョセフ・B・ワースリン, リチャード・G・スコット, ロバート・D・ヘイルズ, ジェフリー・R・ホランド, ヘンリー・B・アイリング
編集長:デニス・B・ノイエシユバンダー
顧問:J・ケント・ジョリー, W・ロルフ・カー, スティーブン・A・ウェスト
実務運営ディレクター:デビッド・L・フリッシュニク
編集ディレクター:ピクター・D・ケープ
グラフィックスディレクター:アラン・R・ロイボーグ
編集主幹:リチャード・M・ロムニー
編集主幹補佐:マービン・K・ガードナー, ビビアン・ポールセン, ドン・L・サール

編集スタッフ:コレット・ネベカー・オース, スーザン・バレット, ライアン・カー, リンダ・ステール・クーパー, ラリー・ポーター・ガント, シャナ・ガスナビ, ジェニファー・L・グリーンウッド, リサ・アン・ジャクソン, キャリー・カステン, メルビン・リービット, メリン・ミンソン, サリー・J・オデカーク, アダム・C・オルソン, ジュディス・M・パーラー, ジョナサン・H・ステイブソン, レベッカ・M・テラー, ロジャー・テリー, ジャネット・トーマス, ポール・バンデンバーク, ジュリー・ワーデル, キンバリー・ウェップ, モニカ・ウイークス
実務運営アートディレクター:M・M・カウサキ
アートディレクター:J・スコット・クヌーセン, スコット・バン・カンペン
制作主幹:ジェーン・アン・ピーターズ
デザイン・制作スタッフ:フェイ・P・アンドラス, C・キンボール・ボット, ハワード・ブラウン, トーマス・S・チャイルド, レジナルド・J・クリステンセン, ブレント・クリスティンソン, シャリー・クック・ケリー・リン・C・ヘリン, キャスリーン・ハワード, デニース・カービー, タッド・R・ピーターソン, ランドール・J・ピクストン, マーク・W・ロビンソン, ブラッド・ティアー, カリ・A・トッド, クラウディア・E・ワーナー
マーケティング部長:ラリー・ヒラー
印刷ディレクター:ケイ・W・ブリッグス
配送ディレクター:クリス・T・クリステンセン

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙でお申し込みになるか、郵便振替(口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振替口座番号/00100-6-41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-0057東京都江戸川区西小岩5-8-6/末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話 03-5668-3391
発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会
〒106-0047東京都港区南麻布5-10-30
電話 03-3440-2351
定価 年間予約/海外予約2,400円(送料共)
半年予約1,200円(送料共)
普通号/大会号200円
「リアホナ」への投稿およびご質問は、下記の連絡先にお送りください。
Room 2420, 50 East North Temple Street, Salt Lake City, UT 84150-3220, USA Eメール:curiahona-imag@dschurch.org

「リアホナ」(モルモン書に出てくる言葉、「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。
アイスランド語, アルバニア語, アルメニア語, イタリア語, イロカノ語, インドネシア語, ウクライナ語, 英語, エストニア語, オランダ語, 韓国語, カンボジア語, キリバス語, クロアチア語, サモア語, シンハラ語, スウェーデン語, ス페인語, スロベニア語, セブアノ語, タイ語, タガログ語, タヒチ語, タミル語, 中国語, チェコ語, デルゲ語, デンマーク語, ドイツ語, トンガ語, 日本語, ノルウェー語, ハイチ語, ハンガリアン語, ハンガリー語, ヒリガイン語, フィジー語, フィンランド語, フランス語, ブルガリア語, ペトナム語, ポーランド語, ポルトガル語, マーシャル語, マダガスカル語, モンゴル語, ラトビア語, リトアニア語, ルーマニア語, ロシア語, ウライ語。(発行頻度は言語により異なります)
© 2003 Intellectual Reserve, Inc. 著作権所有。
印刷所:日本
英語版承認—1996年8月 翻訳承認—1996年8月
原題—International Magazines March 2003. Japanese. 23983 300

For Readers in the United States and Canada:
March 2003 no. 3 LIAHONA (USPS 311-480) Japanese (ISSN 1521-4729) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 East North Temple, Salt Lake City, UT 84150. USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$15.50 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah, and at additional mailing offices. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions and queries to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (Visa, MasterCard, American Express) may be taken by phone. (Canada Poste Information: Publication Agreement #40017431)
POSTMASTER: Send address changes to Salt Lake Distribution Center, Church Magazines, PO Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368.



模範になりなさい

いつも喜んで『リアホナ』(ドイツ語版)を読んでいます。2002年1月号の「模範になりなさい」というトーマス・S・モンソン副管長の説教には特に引かれました。

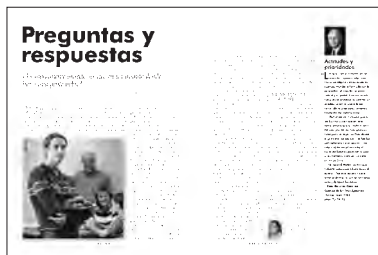
パートトリプルクに住んでいたころのことです。年金暮らしのわたしは、時々ミネラルウォーターを配りに地元の保養所に行くことがありました。あるとき一人の女性と話しました。彼女は、すべてがうまくいかないといい込んでいました。わたしは、神を信じて神に頼るようにと励ましたのです。

別の折に、その女性はテレビで見た末日聖徒の話をし始めました。テレビで見た末日聖徒は、親しみやすく、公平で、思いやりのある人々だったそうです。また、どこか輝いていて、わたしと同じような雰囲気を感じたと言うのです。わたしはこう答えました。「実は、わたしも末日聖徒イエス・キリスト教会の会員なんです。」驚いた彼女はわたしを見て、「あなたの教会のことをもっと知りたいわ」と言いました。

この経験を通して、モンソン副管長の記事に出ていた勧告にどう従えばよいのかが分かりました。

- 1. 思いを真理で満たす
- 2. 心を愛で満たす
- 3. 生活を奉仕で満たす

(『リアホナ』2002年1月号, 115)
ドイツ・マンハイムステーキ, カイザーズ
ラウテルン支部
アルベルト・ツィマー



家族を強める

『リアホナ』(スペイン語版)が届くと、わたしたち夫婦はいつも1週間以内に読み終えます。『リアホナ』を読むことによって、家族が強められてきました。大好きなのは大管長会メッセージです。教会員の話や子供のページも好きです。質疑応答のコーナーではほかの読者の意見を知り、その知恵を自分の生活に応用するのも好きです。『リアホナ』はわたしの家族にとって祝福です。

メリーランド州シルバースプリングステーク, シルバースプリング(スペイン語)ワード
ファン・アルベルト・アース

白黒の『リアホナ』

教会に入ってからずっと『リアホナ』(スペイン語版)を定期購読しています。10歳の娘は「フレンド」が大好きです。カラフルなページが気に入っているようです。わたしの方は、白黒で印刷された総大会号がいちばん好きです。白黒の総大会号が届くと娘はがっかりしますが、わたしはこう言います。「ほら見て、中央幹部よ。この人たちのお話はとっても霊的なよ。」

そのほかにも、教会の発展について情報が得られるチャーチ・ニュースも好きです。『リアホナ』がなかったら、わたしの人生はまったく違ったものになっていたことでしょう。

ベネズエラ・ファルコン地方部, コロ第2支部
リビア・コロモト・メヒヤ・モンティア



家庭の夕べ

大管長

ゴードン・B・ヒンクレー

週に1度の夕べ——月曜日の夜

「わたしたちは、週に1度〔月曜日の夜に〕教会全体で家庭の夕べというプログラムを行っており、両親が子供たちと一緒に時間を過ごします。この時間には、家族で聖文を研究し、家族の問題について話し合い、家族の活動などを計画します。わたしは躊躇せず（ちゆうちよ）に申しますが、世界中のすべての家族がこの一つのことを実行するならば、世界中の家族の結束に大きな違いが生まれることでしょう。」（インタビュー、*Boston Globe*, 2000年8月14日付）

「〔主〕はわたしたちに家庭の夕べを開くように……すなわち週に1度の夕べに子供たちを集めて福音を教えるように期待しておられます。イザヤはこう言いました。『あなたの子らはみな主に教をうけ……る。』これは戒めです。『あなたの子らはみな主に教をうけ、』そしてその祝福は、イザヤが述べたように、『あなたの子らは大いに栄える』ことなのです〔イザヤ54：13〕。」（2000年6月17日、ニューカレドニア、ヌメア、集会）

子供時代の回想

「1915年、ジョセフ・F・スミス大管長は教会員に家庭の夕べを開くよう勧告しました。父はわたしたち家族に、今後母のランドピアノのある居間に集まり、大管長の

勧告に従って家庭の夕べを開くことを宣言しました。

子供のころのわたしたちは人前で何かをするのが大の苦手でした。遊んでいるときはどんなことでも一緒にできたのですが、だれか一人が皆の前で独唱するとなると、まるでコンロの上のアイスクリームに溶けるなど言うのと同じくらい難しいことだったのです。初めわたしたち子供は、お互いの歌を笑ったりからかったりしました。しかし、両親はあきらめませんでした。わたしたちはともに歌い、祈りました。母が読む聖書やモルモン書の物語を静かに聞きました。父は記憶をたぐり寄せていろんな話をしてくれました。……

古い家の居間で開いたそんな素朴（そぼく）でささやかな集いから、言葉で表現できないすばらしいものが生まれました。両親への愛が強められ、兄妹同士の愛も深まりました。主への愛も増しました。そして、わたしたちの中に善いことを素直に認める心が育ちました。このような祝福は、両親が教会の大管長の助言に従ったことによって得られたのです。」（「少年時代の教訓」『聖徒の道』1993年7月号、60）

優先順位を定める力

「皆さんは生活の中で物事の優先順位を定



「この教会の偉大な力は何でしょうか。……それはわたしたちが家族を何よりも重視していることにあります。……家族と親密な関係を保ち、子供たちを愛し、尊重してください。」（2002年9月11日、アイスランド、レイキャビーク、集会）



大管長会からの手紙

1999年10月4日

全世界の教会員各位

件名——月曜日の夜の活動について

拝啓

月曜日の夜は、教会全体で、家庭の夕べの時間として指定されています。会員の皆さんがこの時間を、家族のきずなを強め、家庭で福音を教えるために用いてくださるようお勧めします。

わたしたち大管長会は今年の初め、親である皆さんにこう呼びかけました。子供たちを福音の原則の中で教え育てることに全力を尽くしてくださるようお願いいたします。そのことによって子供たちは教会に活発であり続けるでしょう。また、親である皆さんと子供たちに、家族の祈り、家庭の夕べ、福音の研究と指導、そして健全な家族活動を最優先するようにもお勧めしました。

可能ならば、月曜日の夜に結婚披露宴やほかの同様の活動を催さないよう、会員の皆さんに切に願います。また実行可能な地域では、会員たちが地域社会や学校の指導者に対して、月曜日の夜に子供や親が外出しなければならない活動を計画しないよう要請するのによいでしょう。

月曜日の夜は、教会の建物や施設を閉鎖してください。ステーキやワードの活動も計画しないでください。このほかにも家庭の夕べを妨げるようなことは避けてください。

敬具

ゴードン・B・ヒンクレー
トーマス・S・モンソン
ジェームズ・E・ファウスト

める力を身に付けなければなりません。重要なものに力点を置き、何の結果も生まない重要でないものは後回しにする力です。正義感を確立し、善いものとそうでないもの、重要なものとそうでないもの、そして皆さんの生活の中で驚くべき素晴らしい祝福になり得るものを識別する力を確立してください。」(2001年12月15日、ユタ州ソルトレーク・シティー伝道部、ディボーション)

家族のための神聖な時間

「家庭の夕べについて〔お話ししたいと思います〕。わたしたちはこの重要なプログラムが多くの地域で消滅しつつあることを懸念しています。兄弟の皆さん、家族ほど大切なものはありません。それは、だれもが承知していることです。家庭の夕べのプログラムは今から87年前の1915年、週に1度の夕べを特に家族のためにささげるようにジョセフ・F・スミス大管長が末日聖徒に呼びかけたのがきっかけとなって始まりました。それは教え、聖文を読み、才能をはぐくみ、家族の事柄について話し合う時間でした。スポーツの観戦などをしに行く時間ではありませんでした。もちろん、時々家族でそのような活動を行うことは差し支えありません。しかし、ますます目まぐるしい生活の中で、父親と母親が子供たちとともに座して、一緒に祈り、主の道について学び、家族の課題について考え、子供に才能を発表する機会を与えるのはとても重要なことです。わたしはこのプログラムが教会の家族の必要にこたえる形で、主からの啓示として授けられたことをうれしく思っております。

87年前に必要なものであれば、今日の必要性はいかほどでしょうか。

こうして、月曜日の夕べが家族の活動の夕べに充てられることになりました。教会員が集中している地域では、教育関係者をはじめとする方々がこのプログラムを尊重し、月曜の夕べには行事を入れないようにしてくださっていました。

しかし現在、月曜の夕べに行事を計画する傾向が強まってきました。公立の教育関係の役員をはじめとする方々に謹んでお願い申し上げたいのは、1週間に1度の夕べを



ヒンクレー大管長と姉妹は、子供や孫、ひ孫と一緒に家族の時間をよく楽しんでいる。

本単位であると信じています。強い家族なしに、強い地域社会を築くことはできません。父親と母親と子供たちが一つの単位として協力する強い家族なしに、強い国家を築くことはできません。今やアメリカ全土において、また全世界において、家族はばらばらに崩壊しつつあります。教会の会員の間に善良で健全な家族生活を培うことさえできれば、わたしはこの教会の未来に

ついてほとんど心配はしません。」(イグナシオ・カリオンとのインタビュー, *El País* [メキシコ], 1997年11月7日付)



ホームティーチャーへの提案

よく祈って準備した後、あなたが教える人々の参加を促すような方法を用いて、このメッセージを分かち合ってください。次に挙げるのはその一例です。

1. 家族の人々に2ページを見せて(3ページを見せずに)、このメッセージが何に関するものかと思うか尋ねる。月曜日の夜の家庭の夕べと相いれない活動のリストを作る。ヒンクレー大管長の言葉や大管長会の手紙から幾つかを一緒に読む。毎週家庭の夕べを開く祝福について証^{あかし}を述べる。

2. 「優先順位を定める力」を声に出して読む。家族で順番にこのメッセージを読んでもらい、ヒンクレー大管長がなぜこの話題を強調していると思うか話してもらう。これらの教えがあなたにとって大切な理由を話し、家族にも同様にこれらの教えが自分たちにとって大切な理由を話すよう勧める。

この重要で伝統的な行事を行うために使えるようにしていただきたいということです。子供が月曜日の夕べに出席しなければならないような行事は計画なさらなくてください。週に1度、家族と何のためらいもなく集まれるような機会が子供たちに与えられることの重要性は、よく理解していただけることと思います。この点でご協力を頂ければ幸いです。また、可能なかぎり強い言葉を用いて強調したいのは、父親や母親がこの機会を心から真剣にとらえ、月曜日の夕べを家族のための神聖な時間とするよう、自らにチャレンジしていただきたいということです。

わたしは月曜日に開かれる地域の会合に招かれることが少なからずあります。そうした招きには、感謝をお伝えしつつ一様にお断りしています。そして、月曜の夕べは家庭の夕べになっていますからと申し添えることにしています。皆さん一人一人が同様にしてくださるよう心から願っています。」(「神権を持つ男性たちへ」『リアホナ』2002年11月号, 57-58)

健全な家族生活

「わたしたちが福音に従って生活するならば、人々は教会に入って来るでしょう。わたしたちの生活の美徳を見て、わたしたちが教えるべきメッセージに魅力を感じるでしょう。そのメッセージは家族に非常に重きを置くものです。家族はわたしたちの教えにおいて、また行いにおいて、とても重要なものになります。わたしたちは家族が社会の基

清く あるべき理由

従順がもたらす祝福は麗しいものです。不従順は霊を傷つけます。
選択する能力はあなたにあります。



十二使徒定員会
ニール・A・マックスウェル

わたしはここで、結婚前の純潔と結婚後の貞潔に関する基本的な標準を、多少異なった側面から採り上げたいと思います。これらの純潔と貞潔はすべて、厳しいながらも価値のある第7の戒めの一部です。しかし、十戒の中で恐らくいちばん普及していないものでしょう。

第7の戒めは、わたしたちの時代には普段の話題にならず、最も注意の払われないものでありながら、最も必要な神の律法の一つです。ある人が見かけ上何かほかの点で称賛に値するかぎり、その人がこの戒めを守っているかどうか世の人々はほとんど関心を払いません。気高い原則を守る道^{ひとたび}を一度それると、その後、多くの人々は「現実的」であるとしてそこに安住してしまいます。しかし、不道徳はきわめて非現実的です。

わたしたちは弟子として不道徳に屈することはできません。わたしたちには結婚前の純潔、結婚後の貞潔、同性愛を避けることに関

する戒めが与えられてきました。心の中で不貞^{ふてい}を働くことの危険性に関して教えられてきました(マタイ5:28参照)。一時期の世の中の傾向が神の永遠の律法を変えることはあり得ませんし、わたしたちは譲歩できません。

永遠の始まりは今

わたしが長い間信じてきたことがあります。それは、最も従いにくい教義の中に、その奥深くにこそ最も偉大な真理と最も貴い原則がある、ということです。しかしこれらは、偶然には、あるいは謙遜^{けんそん}さが足りなければ見いだし得ないものです。ペテロが約束しているように、実際、従順は祝福とさらなる知識につながります。正しい原則に従うと知識が増し加わるのです(2ペテロ1:8参照)。第7の戒めもこれに相当します。

例えば、アルマが述べたように、わたしたちは激情をすべて制し、「愛で満たされる」ようにしなければなりません(アルマ38:12)。

このような激情が実際に真実の愛であるならば、それを愛に置き換える必要はないのではないのでしょうか。(預言者ジョセフ・スミスに



真実の愛は
第1と第2の偉大な
戒めの両方において
中心となる属性です。
愛のほんとうの
性質を誤解すれば
人生を誤解すること
になります。
愛の名目で
不貞を働くことは、
かけがえのないもの
を破壊してしまうこと
です。

理由1——神聖な律法と主に調和した生活ができるという祝福。

理由2——自分自身の可能性に目を向けられるようになるという祝福。

・世のもっともらしい誘いの言葉に屈しないでください。あなたが屈しないでいると、ほかの人はあなたについて来ます。

・あなたは人が泥だらけの足であなたの家に入って歩き回るのを許さないでしょう。そのように、人が泥だらけの足であなたの心に入って来るのを許してはなりません。

与えられた1839年の啓示の中で)主は、すべての人に対する慈愛を、絶えず徳で自分の思いを飾ることと結びつけておられます(教義と聖約121:45参照)。

イエスは種まきのたとえの中で、もっと良い状態に変われるのにそうしない人のことを述べておられます。過去の事柄に対する欲望が実際に「御言をふさぐ」からです(マルコ4:19)。肉欲が魂をひどく萎縮させるために、この閉塞が生じるのです。

第7の戒めについてさらに深く考えてみると、わたしたちは永遠にかかわる深遠な特質にまで踏み込んで考えていることが分かります。箴言には、「姦淫を行う者は思慮がない。これを行う者はおのれを滅ぼし」とあります(箴言6:32, 強調付加)。性的不道徳にはわたしたちが完全には推し量れない幾つかの結果が伴います。それらは目には見えませんが、厳然とした事実です。パウロは目に見えない永遠のものについて記しています(2コリント4:18参照)。

兄弟姉妹、心から率直に申し上げますが、わたしたちはより良い世界で生きるために、今、準備をしなければなりません。現世はとても活気に満ちていますが、その期間はあまりにも短いのです。このつかの間の、不完全な世界の流儀にあまりにも早く適合しようとすると、そのための調整が来世の生活への調整に害を及ぼします。来世は永遠に続くのです。この戒めを守らない人々は何と「思慮がない」ことでしょう。

3つの適切な理由

もちろん、第7の戒めに関連する心配事は幾つかあり、わたしたちもそれについては世と同じく憂えています。まず、純潔や貞潔を守らないことでしばしば感染する病気です。教会にも世の中にも、それを避けたいという願いがあります。

第2に、妊娠して未婚の母になるのを避けたいという思いも共通しています。残念なことに、世の人々の「最後の解決策」は墮胎です。ヤコブは不貞について非常に分かりやす

く述べていますが、墮胎は不貞と同じように、多くの者の心が「深い傷を負って」死ぬ状態を生み出しています(モルモン書ヤコブ2:35)。2度の墮胎を経験したある若い女性がわたしに質問形式で書き送ってきた次のような苦痛の声に耳を傾けてください。

「わたしが墮胎した子供たちの霊について知りたいことがあります。その霊たちはわたしのおなかにいたのでしょうか。苦しんだのでしょうか。2回とも3か月未満でしたが、母親は胎動を感じる前に、命を感じます。

その霊たちは迷子になって孤独なのではないのでしょうか。

その霊たちはいつか体を持てるのでしょうか。

わたしはいつか再びその霊たちを自分の子供として迎える機会を持てるのでしょうか。」

ああ、兄弟姉妹、「悪事は決して幸福を生じたことがない」のです(アルマ41:10)。

わたしたちと世の人々の間で、ある程度共通の認識となっている心配事の第3として、性的不道徳は結婚と家族生活に悪影響を及ぼし、離婚率を急増させているという事実があります。

しかし幸いなことに、神の王国である教会において第7の戒めを守る理由は、実生活で見られるこれらの3つの心配事を超越したものです。

最善の理由

純潔の律法に完全に従う根本的な理由は、神の戒めを守ることにあります。獲物をねらうかのようなポテパルの妻の誘いを拒んだとき、ヨセフはその理由をはっきりと理解していました(創世39:9参照)。自分の雇い主であるポテパルへの忠節を明らかに大切にしていたヨセフは、次のように言葉を結んでいます。「どうしてわたしはこの大きな悪をおこなって、神に罪を犯すことができましょう。」ヨセフの従順さは多くの人への立派な忠節、すなわち、自分自身と自分の将来の家族、ポテパルと、神と、また実にポテパルの妻に対する忠

節の行為でした。

この戒めに従うもう一つの大きな理由は、第7の戒めを破ると聖霊が退き去ることです。聖霊を伴^{はんりよ}侶にするという偉大な恩恵^{おんけい}を失って



しまいます。聖霊が罪深い人の中にとどまられることはあり得ないからです。そして、聖霊の助けがなければ、わたしたちはあまり役に立たない、あまり感受性が豊かでない、あまりよい働きをしない、あまり愛が深くない人になります。

ほんとうの愛

性的不道徳は危険でもあります。感受性をひどく鈍らせるからです。好色は皮肉なことに、物事を感じ取る能力を誤った方向に働かせたり、失わせたりすることがあります。3つの異なった神権時代における3人の預言者の言葉にあるように、「無感覚」になるのです（エペソ4：19；1ニーファイ17：45；モロナイ9：20参照）。

贖罪^{しょくざい}は従順と慈愛によって実現しました。慈愛は愛より偉大です。贖罪は人類のすべての歴史の中で最も私心のない、最も意義深い行為でした。他方、不道徳は容赦なく利己心を増大させます。利己心はすでに世界にひどい災いを引き起こしています。真実の愛は第1と第2の偉大な戒めの両方において中心となる属性です。ほかのあらゆる律法はこの二つの戒めを基としています。したがって、愛のほんとうの性質を誤解すれば人生を誤解することになります。

愛の名目で不貞を働くことは、愛の存在を不当な形でたたえることにより、かけがえのないものを破壊してしまうことです。そうになると、感じる力を失ってしまいます。魂に対する味覚^{みかくが}芽を効かなくしてしまったからです。

第7の戒めを守る必要があるもう一つの理由は、不貞が自尊心を低下させることです。人の本質と本来の自分自身に対して実際に罪を犯しているからです（1コリント6：18、19参照）。わたしの考えでは、前世で交わした過去の約束をも破っているのです。また不貞はほかの人々にも大きな影響を及ぼします。

結婚しないで同棲している大勢の若者の一部は、家族生活という点で大きな過ちを犯しています。社会環境にその過ちが生み出す厳しい結果は、その後の何世代にもわたって影響を及ぼします。

自由であること

こうした懸念は、病気や妊娠に対する世の心配事をはるかに超えたものです。しかし、パウロが述べているように、教会は断固として、「真理の柱、真理の基礎」でなければなりません（1テモテ3：15）。

教会はまた、最大の自由の一つである罪からの自由を得ていない人々についても懸念しています。パウロは、「主の霊のあるところには、自由がある」と述べています（2コリント3：17）。イエスは、「真理は、あなたがたに自由を得させるであろう」とおっしゃっています（ヨハネ8：32）。

相互に関連し合っているこれら一連の理

**理由3——純潔に伴う
明確な自尊心を得る
という祝福。**

**理由4——欲望^{ほうぎやく}の暴虐
から解放されるという
祝福。**

・欲望に駆られた人々は自由を得ることについて間違った感覚を持ちます。それはむなしい解放感です。

・すでに過ちを犯している場合、悔い改めの栄えある福音があることを覚えておいてください。真剣に悔いて、必要なステップに従おうとするすべての人を、救いの奇跡が待ち受けています。

理由5—魂を
むしばむ罪悪感から
解放されるという
祝福。

理由6—欲望によって
のみ行動を促される
のではなく、自ら賢明に
行動することを
学んで、選択の自由の
幅を広げるとい
う祝福。

・悪を行う衝動を
覚えた場合、
その衝動がまだ弱く、
意志がまだ強い間に、
その衝動に対抗する
行動を起こして
ください。

由について考えると、それらが単なる美しい言葉の繰り返しではないことを理解できます。モルモンをはじめとする預言者たちは、純潔を失うことは、あらゆるものに勝って貴いものを失うことであると述べています（モロナイ9：9参照）。また聖文の記録者たちは自分の民の退廃（たいはい）を見て、不貞や姦淫（かんえん）の蔓延（まんえん）を「罪悪の熟（な）すること」と同一視しました。それが歴史の中で幾度となく繰り返されたのではなかったでしょうか（ヒラマン8：26参照）。

自分自身を見いだす

ある種の欲望を完全に否定し、その他の欲望を抑制することによって、また、自己を忘れて奉仕をすることによって、わたしたちは自分自身を見いだします（アルマ39：9；3ニーファイ12：30参照）。自分自身を見失った世の人々のように、世の中で影響力を発揮することは容易にできません。塩の効き目がなくなったら……という言葉を中心にとどめておいてください（マタイ5：13参照）。

わたしたちは世の正しくない流行に抗しなければなりません。信仰箇条第13条では、人気があるもの、流行のもの、忌むべきもの、官能的なものをすべて信じてこれらのものを尋ね求めるようにとされています。そうではなく、「正直、真実、純潔、慈善、徳高くあるべきこと、またすべての人に善を行うべきことを信じる」のです（信仰箇条1：13）。そして、これらの属性は互いに関連し合っています。

重大な性的不道徳がもたらすもう一つの結果は、感受性の鈍化とともに、それが人々の希望を奪い始めるということです。希望を失うと、直ちに失望が入り込んできます。ある預言者は、「絶望は罪悪のために生じる」と述べています（モロナイ10：22）。

10の警告

皆さんへのわたしの助言を以下にまとめました。

1. 世のもっともらしい誘いの言葉に屈しないでください。あなたが屈しないしていると、驚くべきことに、ほかの人はあなたについて来ます。パウロは、「主の霊のあるところには、自由がある」と述べました（2コリント3：17）。御霊を失うような行為をする人は、男女を問わず、ほんとうに自由になることはできません。
2. あなたは人が泥だらけの足であなたの家に入って歩き回るのを許さないでしょう。そのように、人が泥だらけの足であなたの心に入って来るのを許してはなりません。
3. 純潔と家族の貞潔の鎖にあなたもしっかりとつながっててください。そうすれば、その鎖を祖父母から両親へ、また子供たちへ、そして子孫へとつなげることができます。そのように、互いに結ばれることは、もちろん、最も強いきずなで一つとなることであり、周囲の世界で何が行われていようと自分はこの戒めを信じているのだと、行いを通じて主張することです。
4. 不貞を働く人々と交際しないでください。それは、あなたがそうした人々よりも善良だからではなく、あなたがまだ十分に善良ではないからです。悪い状況は善良な人々さえも次第に損なうことがあり得ると覚えておいてください。ヨセフはポテバルの妻から逃れる良い感覚と立派な足の両方を持っていました。
5. 人を食い物にする利己的な男性の存在は今に始まったことではありませんが、現在では、人を食い物にする利己的な女性がいます。両者とも欲望に駆られ、自由を得ることについて間違った感覚を持っています。しかし、それはカインが（戒めを破ってアベルを殺した後に）得たむなしい解放感と同じたぐいのもので、彼は皮肉にも、「わたしは自由だ」と述べています（モーセ5：33）。
6. すでに過ちを犯している場合は、悔い改めの栄えある福音があることを覚えてお

いてください。真剣に悔いて、必要なステップに従おうとするすべての人を、赦しの奇跡が待ち受けています。しかしながら、そのためにはまず魂が不品行に対



して苦しみを感じる状況がなければなりません。ほんとうの清めがあってこそほんとうの癒しがあるからです。しかし、悔い改めの道は実際そこにあるのです。

7. 悪を行う衝動を覚えた場合は、その衝動がまだ弱く、意志がまだ強い間に、その衝動に対抗する行動を起こしてください。悪との戯れは、意志を弱め、衝動を強める行動にすぎません。誘惑についてはパーキンソンの法則（訳注——イギリスの経済学者・社会学者であるシビル・ノースコーテ・パーキンソン〔1909-1993年〕の唱道した、「仕事は、利用できる時間を埋め尽くすまで増えていく」という法則）が当てはまります。誘惑は空いた時間と空間をどんどん埋めていきます。「熱心に」善いことを行い続けてください（教義と聖約58：27）。
8. 教会の行動基準はこの世のものとは異なっています。そのことと、何人もの預言者が告げてきたことを結びつけて考えてください。預言者たちは、世の不品行を

どんなに忌み嫌う必要があるか説いてきました。世の人々を軽蔑してはなりません。愛さなければなりません。しかし、世の不品行は軽蔑して然るべきです。なぜならそれは、究極的には取るに足りないものだからです。

9. 過ちを犯している人にあなたの人生の流れを決めさせてはなりません。性的な征服を誇る人々は自分が征服されてしまったことを誇っているにすぎないからです。わたしたちは行動のクローン〔訳注——ここでは、自分で考えないでほかの人の行動をまねる人々のことを指している〕を気の毒に思いこそすれ、うらやましくは思いません。
10. 若い友人の皆さん、公正ということに心を配り、自分自身に対して公正であってください。昔のある政治指導者について述べたモルモン書の次の聖句がそのことを物語っています。「彼は民に対しては公正であったが、自分自身に対してはそうではなかった。多くのみだらな行いをしていたからである。」（エテル10：11）

結果と祝福

これまで、不道徳が生む幾つかの結果について述べてきました。不道徳とはすなわち、禁欲よりも抗生物質〔訳注——ここでは、不適切な性行為を避けずに、性病用の薬を用いる考え方を指している〕、子供よりもピル〔訳注——ここでは、子供を産む代わりに、薬を用いた産児制限をすることを指している〕、結婚よりもパートナーという選りをする事、また、未婚の親の出産、新たなスリルという名を借りた旧来の倒錯行為などのことです。

しかし、今ここでわたしは、厳しいながらも価値のある第7の戒めに関するかぎり、従うことは祝福の扉でもあるということを書いておく必要があります。悪事と不貞の結果を避けることによって、戒めを守る人々に必ず与えられる数々の祝福に、扉を開いて近づくことができるのです。モーセ

理由7——悪を拒んで善を選ぶ意志決定を行うときに必ず得られる行動力という祝福。

理由8——個人の完全さと恐れのない開放性に通じる魂の高潔さという祝福。

・わたしたちは世の不品行を忌み嫌うようにならなければなりません。性的な征服を誇る人々は自分が征服されてしまったことを誇っているにすぎないからです。

・純潔と家族の
貞潔の鎖にしっかりと
つながっていて
ください。
そうすれば、その鎖
をあなたの子孫へと
つなげることが
できます。

は昔のイスラエルに、戒めを守るならば「このもろもろの祝福はあなたに臨み、あなたに及ぶであろう」と約束しました（申命28：2）。



皆さんが第7の戒めを守るならば、次のような祝福とそのほかにも数々の祝福が「あなたに臨み、あなたに及ぶ」でしょう。

1. 厳しい第7の戒めをその言葉どおりに完全に守ると、神聖な律法と主に調和した生活ができるという祝福にあずかります。
2. 従順も同様に、自分自身の可能性に目を向けることによってほんとうの自分を見いだす、という祝福をもたらします。福音はわたしたちに、現在の状態だけでなく潜在的な力についても考えさせてくれるのです。
3. 第7の戒めを守ると、それに伴う明確な自尊心という祝福が得られます。
4. この戒めを守ることの祝福は、あらゆる暴虐行為ぼうぎやくの中で最も過酷な、欲望という暴虐から解放されることです。

5. 魂をむしばむ罪悪感から解放されるという祝福も与えられます。罪悪感は無駄な合理化と、外に向かって誠実に奉仕する代わりに内に向かって自己を哀れむ態度を伴うものです。
6. また、選択の自由の幅を広げるという祝福を知るようになります。選択の自由の中できわめて重要な位置を占める欲望によってのみ行動を促されるのではなく、自ら賢明に行動することを学ぶようになるからです（2ニーファイ2：26参照）。
7. 行動力という大きな祝福もあります。これは、悪を拒んで善を選ぶ意志決定を行うときに必ず得られるものです。もはや罪を喜ばないという段階に到達するだけでは不十分です。義に飢え渴かなければなりません。
8. さらに、個人の完全さと恐れのない開放性に通じる、魂の高潔さという非常に重要な祝福があります。結婚生活を始めるとき、自分自身がばらばらでは、どうしてその結婚で「一体」になれるでしょうか（マタイ19：5）。純潔、高潔、落ち着き、これらは相互に関連し合っている、言葉に尽くせない祝福です。

若い友人の皆さん、イエス・キリストの戒めから逸脱いつだつすると、わたしたち個人のクリスチャンとしての特質が減じます。したがって、真のクリスチャンであるためには第7の戒めを守らなければならないのです。

父なる神が若い預言者ジョセフ・スミスに御子イエス・キリストを紹介されたとき、最初の言葉はこうでした。「これはわたしの愛する子である。彼に聞きなさい。」（ジョセフ・スミス—歴史1：17）この教会と教会の預言者たちはそれ以来いつも、イエス・キリストの言葉に耳を傾けてきました。イエス・キリストが純潔と貞潔について述べられた事柄もそこに含まれているのです。

■
『タンブリ』（Tambuli）1981年4月号に掲載された記事を基に編集。

真の友になる方法

クリスティ・マクレーン

わ たしたちは皆、友人を必要としています。しかし、友人を得るには、まず自分自身がだれかの友人にならなければなりません。以下は良い友人となるための提案です。

❖ **自分以外の人に心を開く。** つい自分自身のことを話したくなってしまふものですが、周りの人の話に耳を傾けましょう。だれでも自分自身について話すのが好きなのです。相手に質問し、話を聞くようにすることで驚くべきことが起こるでしょう。

❖ **ほんとうに思っていることを話す。** 「お元気ですか」と尋ねたり、賛辞を送ったりする際には、心からの言葉であるべきです。口先だけの言葉は、すぐに相手に伝わってしまいます（2コリント1：12参照）。

❖ **長所を探す。** 往々にして、人の短所は長所よりも目立つものです。だれかについて良くない思いを抱いていることに気づいたときは、その思いを捨て、良い感情に取って代わるよう努めましょう。

❖ **真理に堅く立つ。** 行いや言葉を通して、自分が正しいと信じていることを擁護するのは大切なことです。自分の標準に妥協を許さないことで、周りの人々は、自分たちの標準も尊重されていることに気づくでしょう。

❖ **仕える。** だれかに仕えれば仕えるほど、その人を愛するようになります。十二使徒定員会のジョセフ・B・ワースリン長老は次のように言いました。「キリストのような友から受ける哀れみは、生活に大きな影響と変化をもたらします。」（『価値ある交わり』『聖徒の道』1998年1月号、37）

❖ **黄金律を心に留める。** 単純なことのようですが、自分がしてほしいことを相手に対して行うことは非常に役に立ちます（マタイ7：12参照）。敬意を示し、親切にすることで、人々に愛を伝えましょう。

❖ **キリストのような視点から物事を見る。** イエス・キリストがわたしたちを愛してくださっているように、わたしたちも人々を愛さなければなりません。忘れないください。「友はいずれの時にも愛する」のです（箴言17：17）。■

クリスティ・マクレーンはブリガム・ヤング大学第2ステーク、BYU第61ワードの会員です。



すべての善良で美しく

世の標準に対抗するのが困難なこともあります。しかし、重要な^{がいねん}概念を幾つか知っていれば、親は子供が生涯を通じて慎重な服装をしていけるよう堅固な土台を築いてやることができます。

ジャン・ピンボロー

わ たしたちは、特別な日の子供たちの服装にこだわります。命名と祝福の儀式に備え、大切な赤ちゃんに着せる服を注意深く選びます。かけがえない子供が白い衣を着てバプテスマを受けられるように準備します。また、人生最良の日の一つは、愛する娘や息子が美しい神殿衣に身を包んで永遠の聖約を結ぶ姿を見る栄誉に浴する日です。このような特別な日、わたしたちは、子供たちの服装が福音の儀式によりいっそうの敬虔^{けいけん}さと聖なる意義を添えてくれることを認識しています。

しかし、子供たちの普段の服装にも重要な意味があることには気づいていないかもしれません。子供たちの普段の服装は、確かに彼らを福音の儀式と祝福に近づけることも、それらから遠ざけることもできるのです。子供の祝福やバプテスマという神聖な瞬間から、子供たちが主の宮で結ぶ神聖な聖約へと導かれ

るような服装ができるように、わたしたち親はどのように助けることができるでしょうか。

自分が神の子であることを知り、それにふさわしい服装をする

慎重な服装をすることについて、子供たちは以前にも増して明確な勧告を必要としています。多くの近代社会では、服装に関して、慎重の標準はおろか良識さえ姿を消したも同然です。過去には酒場や不適切な雑誌などでしか見られなかったスタイルが、今や子供を対象に流通し、しかもその対象年齢がますます低くなる傾向にあります。ですから、子供が10代に近づくのを待って慎重を教えるのでは遅すぎるのです。

世の標準に対抗するのが困難なこともあります。とりわけ、子供が成長し、同年代の友達に受け入れられたいと思うようになるころは、非常に困難です。しかし、小さいと



いもの

きから始めれば、子供が生涯を通じて慎み深い服装をしていけるよう堅固な土台を築いてやることができます。この土台を築くには、どんな概念が鍵となるのでしょうか。次の福音の真理を考慮し、こうした真理を理解することが服装の選択にどのような影響を与えるか考えてみてください。

- わたしは神の子供です。主の業を行うという明確な目的のために、神はわたしに肉体という神聖な賜物を下さいました。
- 神はわたしに慎み深い服装をするよう望んでおられます。慎み深い服装をすれば、自分の神聖な生まれと目的を反映することができます。
- 慎み深い服装をすることは、わたしに託された神の大義に集中する助けとなり、それによって、人から敬意をもって扱われるようになります。

正確な反映

ある母親は、これらのポイントを家庭の夕べのレッスンでさらに強調しました。まず、ソルトレーク神殿とカジノの写真を家族に見せることから始めました。家族は、建築士が建物をデザインするときには外形と機能との釣り合いを目指すことについて話し合いました。ソルトレーク神殿の高くそびえる尖塔は、見る人の目を天国に向け、敬虔さと畏敬の念を抱かせることに気づきました。「神殿が外観から醸し出す威厳と崇高さが、わたしたちを神のみもとに導くという建物の聖なる目的を正確に反映していることを説明しました」と母親は言います。

それから、カジノの外観も建物の目的を反映していることを話し合いました。「その建物のけばけばしさは享楽を象徴しているということが見て取れました。人をこの世の



快楽に誘う建物です」と、この母親は続けます。建材や色、デザインに至るまで、すべてが建物全体の目的にいかんにか貢献しているかを、家族は話し合いました。

「慎み深い服装の人とそうでない人の写真を見せると、子供たちは、服装も同じように人の目的を反映するという

ことを、すぐに連想できました」と彼女は説明します。家族は、慎みのない服装が見る人の目を着ている人の体に引きつけることを知りました。また、慎み深い服装は、着ている人の霊を輝かせてくれることも理解できました。彼女はこう結んでいます。「服装は、わたしたちの神の子としての聖なる目的に貢献することも、その目的を損

心も体も清く



「自分の体は神聖なものである、と考えたことがあるでしょうか。皆さんは神の子です。皆さんの肉体は神の創造物なのです。……心も体も

清く身なりの整った若い女性は、何と美しいことでしょう。そのような若い女性は、まさしく永遠の父なる神が誇りとされる神の娘です。身なりの整った若い男性は、何とハンサムに見えることでしょう。そのような若い男性は、神の聖なる神権を保持するに値する神の息子で〔す。〕」

大管長
ゴードン・B・ヒンクレー
〔「若人への預言者の勧告と祈り」
『リアホナ』2001年4月号, 37〕

レッスンだけでは、最も効果的な教える手段とは言えません。両親は、子供たちが慎み深い服装ができるよう助けなければなりません。適正な服が見つからない場合は、自分で縫うことを考えてください。



なうこともできるということ話し合
ってレッスンを終えました。そして、
自分たちが何者であり、どんな目的を
持っているのかを正確に反映する服装
を選ぶように、家族にチャレンジしま
した。」

家族の文化を築く

レッスンだけでは、慎みを
教える手段として最も効
果的とは言えません。次
に、子供たちに慎み深い
服装をさせるのに役立つ、
家族の文化を築いていく方
法を紹介します。

- まず親が常に適切な
服装をすることによ
って家族の標準
を定めてくださ
い。あなたがす
でに神殿で自身
のエンダウメン
トを受けている
場合は、ガーメントを完全に覆う
服を選びます。まだエンダウ
メントを受けていなくても、
参入した後に着られる適切な服
装をするようにします。
- 子供たちの適切・不適切の感覚を鈍ら
せるような娯楽を家庭から排除して
ください。映画、コンピューターゲーム、
テレビ番組、音楽ビデオなど、視覚媒
体はすべて服装に関するメッセージ
を発信しています。好きな人気タレ
ントが挑発的な服装をしていれば、
年少の子供はタレントをまねた服装
をしたがったり、そんな服装も悪く
はないと思いはじめたりするかもし
れません。
- 店で適切な服が見つからないとき
は、できれば自分で子供の服を縫
うか、人に縫ってもらいます。
- 店に手紙を書いたり、直接訪れ

雄々しく立つ



「『行いは、言葉より
も多くを語る』とい
う言葉があります。
実際、行いはわたし
たち自身についてた
くさんのことを語っ
ています。わたした

ちは預言者の勧告に従って上品な服装
をするという点で雄々しく立つ必要が
あります。……母親の皆さんは、この
重要な事柄に関して模範となり、判断
基準となることができます。しかし、
若人は焼きたてのパンのいいにおい
にすぐ気づくのと同じくらい、偽善
的な行為にもすぐ気づくということを
忘れないでください。親の皆さん、息
子や娘たちに助言を与え、品のない服
装に対して彼らとともに雄々しく立っ
てください。」

管理監督

H・デビッド・バートン

(『雄々しく立つ』『リアホナ』2002年1月
号, 76)

たりして、子供のために健全なス
タイルを望んでいることを知らせ
ます。

- スポーツをするときも、活動にふ
さわしいと同時に慎み深くて品位
のある服装をすることが可能で
す。学校や課外活動で慎みに欠け
るユニホームや衣装を着ることが
義務づけられるときは、コーチ、
教師、または校長に、もっと適切
なスタイルを選ぶように働きかけ
ます。時には、不適切な服装を義
務づける活動に参加するのをあき
らめるように、子供と話し合う必
要がある場合も考えられます。
- 子供の友達に合わせたり、人気者
になれるようにという理由だけで
不健全な、または「それに近い」
洋服を買わないでください。人と
違う服装に満足できるように、こ
のような「違い」は自分の信仰を宣
言し人の模範となる一つの方法で
あることを説明します。

スペンサー・W・キンボール大管長(1895-1985年)は、
家庭の外にあるものとは異なる、慎み深い文化を作り出す
ように勧告しました。「わたしたち独自のスタイルを作ること
ができます。……わたしたちは人と違うべきなのです。
望ましく思わないことは何もする必要はありません。わた
したち独自のスタイルと標準を作ることができるからです。
教会員の服装の標準に影響を与え、ひいては地域社会全体
が適正な標準を作れるよう助けることも可能です。」¹

標準とは

避けるべき服装に関する教会の基本的な指針は『若人の
強さのために』に記されています。

「慎みのない服装とは、ショートパンツや丈の短いスカ
ート、体にぴったりとした服、おなかを露出したシャツ、そ
のほか肌があらわになるような衣装です。若い女性は肩を
覆う服を着用し、胸もとや背中が見えるローカットのえり
や露出度の大きい服を避けるべきです。若い男性も慎みの
ある外見を保つ必要があります。極端な服、外見、整髪は
どの若い男性も避けてください。……

……何が適切かよく分からないときは、指導者や親に尋

ねてみましょう。』²

慎み深い態度

もちろん、慎みとは単に洋服の丈やスタイルの問題にとどまりません。品の悪いプリントであれば、たとえトレーナーでも慎みに欠けるものになりかねません。慎みには、着る人の動機と態度の両方が含まれます。肉体を誇示したり注目を浴びる道具にしたりする人は、何を着ても慎み深くは見えません。健全な外見と慎み深い態度は、次の原則を理解していることを示します。

「あなたの体は神の神聖な創造物です。神からの贈り物としてこれを尊び、決して汚してはなりません。あなたは、自分の体がどれほど貴いか知っていることを、服装と外見を通して主に示すことができます。あなたは自分がイエス・キリストの弟子であることを示せるのです。

……適切な身だしなみや慎み深い服装を心がけるなら、御霊が常にとどまり、周囲の人々に良い影響を与えることができます。

どのような場合にも決して服装の標準を下げないでください。標準を下げる行為は自分の身体を利用して人の注意を引き、認められようとしている、というメッセージとともに、慎みを大切にするのは都合のよいときだけだ、というメッセージを送っているのと同じです。』³

鏡に尋ねる質問

学校やほかのどんな活動に出かける前にも、子供は普通少なくとも数秒間は鏡をのぞいて身だしなみを確認するものです。そんなときに次のように自問するなら、単なるおしゃれを超えた、健全で慎み深い魅力を求めるようになるでしょう。

- この服装で人の注意を引くのは、わたしの体だろうか、それとも信念だろうか。挑発的に見えるだろうか。それとも健全に見えるだろうか。
- この服装はこの世的にうまくいくためだろうか。それとも神の子としてふさわしい敬意を得るためだろうか。
- この服装はイエス・キリストの弟子、そして主の教会の

明確なメッセージ



「時々わたしは、名声や人々の称賛を得るよう子供たちにプレッシャーをかけているのは、わたしたち母親ではないかと思うことがあります。わたしたちの基準が主の標準となるようにわたしたちの願いを変えるなら、主の王国においては二重の標準は存在しないという明確なメッセージを伝えることとなります。……観察眼の鋭い若者は気づいています。皆さんのショートパンツの長さや、ブラウスを着るためにガーメントをピンで止めていないか、庭で作業をしているとき何を着ているか、あるいは着ていないか、どんな映画館の前に並んでいるか、気づいているのです。」

前中央若い女性第二副会長

シャロン・G・ラーセン

(「「恐れることはない。われわれと共にいる者は……多い」『リオホナ』2002年1月号、78)

「時々わたしは、名声や人々の称賛を得るよう子供たちにプレッシャーをかけているのは、わたしたち母親ではないかと思うことがあります。

会員というわたしの立場を正しく反映しているだろうか。

真の幸福

自分の娘たちがこの世的になりつつあることを心配したブリガム・ヤング大管長（1801-1877年）はこう言いました。「〔若い〕女性たちが互いに競い合ってこの世の愚かな流行にうつつを抜かしている状況を懸念しています。」それから大管長は娘たちに、服装や行動からこの世的な影響を一掃するために「削減」を求めました。「服装への浪費を削減するように望みます。……粗悪で価値のないものへのあらゆる浪費を削減し、すべての善良で美しいものを増し加えるようにしなさい。それはあなたたちを不幸にしたいからではなく、この世と次の世で、真に幸福に暮らしてほしいからです。』⁴

自分の子供たちがこの時代の慎みのない流行に抵抗できるように助けるとき、わたしたちは同時に「すべての善良で美しいものを増し加えるように」助けているのです。そして、神殿と永遠の命の祝福に至る道にとどまる子供たちが、もっと豊かに御霊を感じられるように助けているのです。■

ジャン・ピンボローは、ソルトレーク・イースト・ミルククリークステーキ、イースト・ミルククリーク第4ワードの会員です。

ジャン・ピンボローは、ソルトレーク・イースト・ミルククリークステーキ、イースト・ミルククリーク第4ワードの会員です。

注

1. “On My Honor,” *Ensign*, 1979年4月号, 3で引用
2. 『若人の強さのために』15-16
3. 『若人の強さのために』14-15
4. スーザ・ヤング・ゲイツ, *History of the Young Ladies' Mutual Improvement Association* (1911年), 8-10で引用

真の美しさ

ふとした出会いから、独自の美を求めるとはどういうことかが分かりました。

ロザリン・コリングズ

教 会機関誌に載ったポスターで、わたしが気に入っているのは、たくさんのばら^きを挿した美しい花瓶を描いたものです。中央には1本のひな菊の花が生けられています。タイトルは「独自の美を求めよう」です(『聖徒の道』1987年4月号, 34参照)。わたしはよくそのひな菊のように感じるがあります。あたかもどきりとするほど美しい大勢の人たちに囲まれて、途方に暮れる、見栄えがしない人間であるかのように。しかし、美しさは人それぞれであることや、最も大切なのは外見上のはなしではなく、美しさではなく内面の

美しさであることを徐々に理解するようになりました。

ある日学校で昼食を取りながら次のクラスの予習をしていると、近くの席で楽しげに話しているグループに気づきました。

中でも一人の若い女性にひととき目を引かれました。その女性は背が高く、美しい黒髪と褐色の肌、そして彫りの深い顔の持ち主でした。その容貌^{ようぼう}には、わたしの青白く、そばかすだらけの顔と赤毛とは、似たところを思い浮かべられる点などまったくありませんでした。それまで出会ったこともないような美しい人々の一人だったのです。

しばらくすると、そのグループは席を立ちました。ところが、わたしが見詰めていたあの女性が足を止めたので、わたしは少し決まりが悪くなりました。きっとじろじろ見ていたのが分かったのでしょう。すると思いかけることが起こりました。

「おじゃましてごめん下さい」と彼女は言いました。「でもあなたがどんなにきれいなお伝えしたいと思って。」

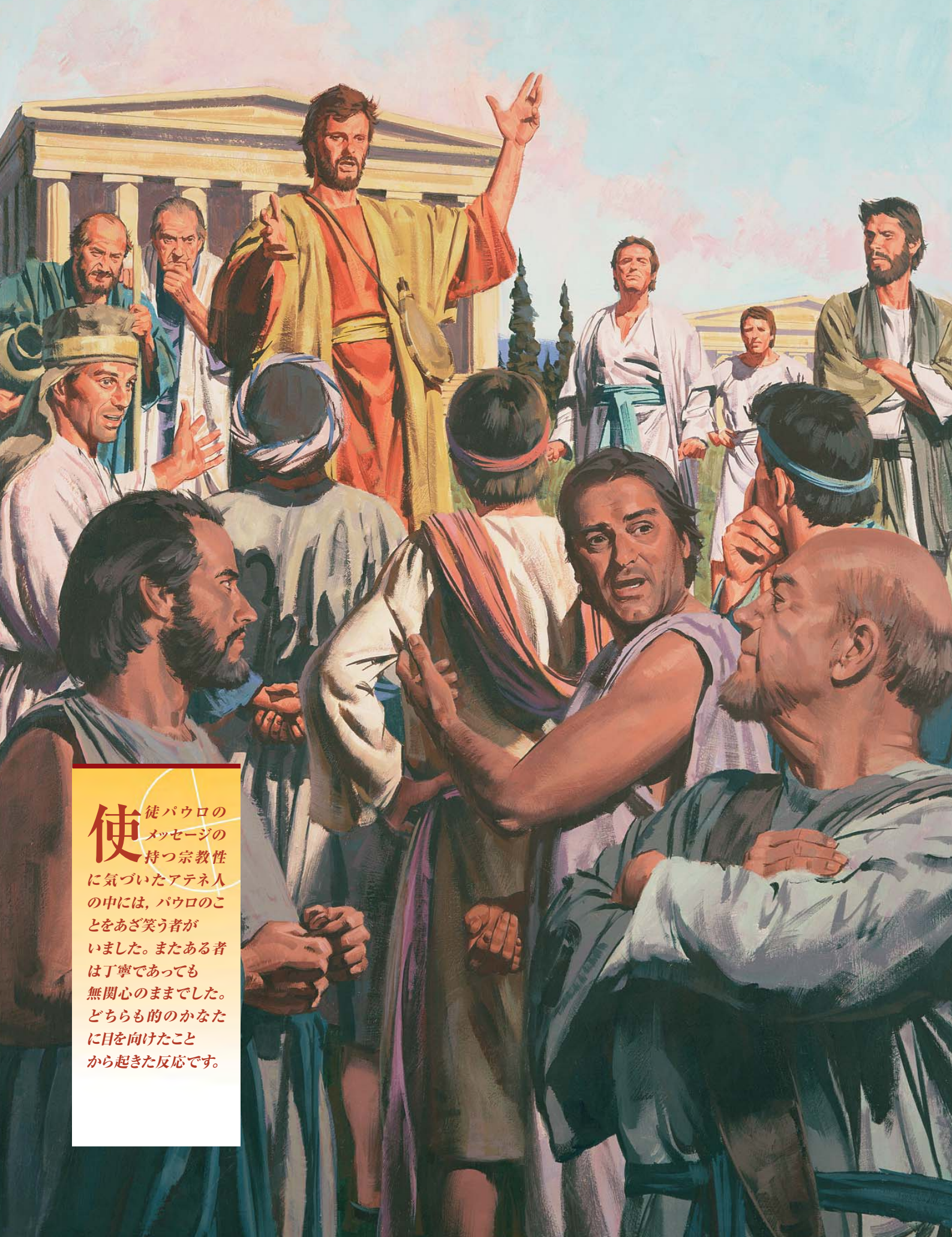
驚きのあまり一瞬言葉に詰まってから、わたしは笑いだしてしまいました。「わたしもあなたを見て同じことを考えていたのよ。」

その女性が立ち去った後、わたしはこの出来事についてあれこれ思い巡らせました。わたしたちはお互いの中に自分がない美しさを感じました。そのとき、わたしは美しさの基準は一つではないことを理解したのです。

それ以来、天の御父がわたしたちをどのように御覧になっているか考えてきました。御父にとってわたしたちは美しい者に違いないと思います。なぜなら、わたしたちは御父の子供なのですから。そして、この神聖な生得権はどんな身体的な美しさにも増して尊いものです。

天の御父はわたしたちの髪や肌の美しさを気に留められるわけではありません。そうではなく、心を見られるのです。わたしたちが「心の中に、……大きな変化」を経験するよう努めるとき、祝福されて「[わたしたちの]顔に神の面影を」受けることができます(アルマ5:14)。この内なる輝きが真の美しさをもたらすのです。■

ロザリン・コリングズはペンシルベニア州アルツーナステーク、ステートカレッジワードの会員です。



使徒パウロの
メッセージの
持つ宗教性
に気づいたアテネ人
の中には、パウロのこ
とをあざ笑う者が
いました。またある者
は丁寧であっても
無関心のままでした。
どちらも的のかなた
に目を向けたこと
から起きた反応です。

的のかなたに 目を向ける

人の哲学に心を向け、あまりにも熱心に「興味本位の福音」を追い求め、教義よりも規則を重視するときに、「的のかなたに目を向ける」ことがあります。

七十人

クエンティン・L・クック

わたしたちが住む世界では、つい最近起こったことや、ぞくぞくすること、また流行や「耳新しいこと」がもてはやされ、脚光を浴びるものです。救い主のメッセージと模範の中でもきわめて重要な要素は、犠牲、奉仕、愛といった静かで日常的な行為です。しかし映画やテレビなどのメディアは、むしろうわべだけの勇敢な行為や、社会生活を阻害するような人々、あるいは争い、性行動を礼賛します。世の中は、猛烈な勢いで新奇なことを探し求めるあまり、しばしば真実なものを踏みにじります。

使徒行伝第17章には使徒パウロのアテネ訪問に関する記録があります。当時のアテネは長い期間にわたって衰退の一途をたどっていましたが、自国の哲学的伝統をいまだ誇りとしていました。記録には、当時ほかの学派より優勢だった哲学を奉じる二つの集団、ストア派とエピクロス派が登場します。ストア派は最高の善とは徳であると信じていました。一方、エピクロス派は最高の善とは快楽であると信じていました。ストア派の多くは高慢になり、自分たちの

哲学を「野心と罪悪の隠れみの」として用いるようになりました。エピクロス派は快楽主義者となり、「明日死ぬとも知れぬ我が身、いざ飲み食わん」¹という言葉をもットーとしていました。

パウロはアレオパゴスの評議所でこのように異種多様な人々に向かって話をするよう求められました。使徒行伝第17章21節には次のように記されています。「いったい、アテネ人もそこに滞在している外国人もみな、何か耳新しいことを話したり聞いたりすることのみに、時を過ごしていたのである。」（強調付加）

パウロは「知られない神に」と刻まれた祭壇を引き合いに出すことで人々の注意を引こうとしましたが、ほんとうに伝えたいメッセージはイエス・キリストの復活でした。このメッセージの宗教性に気づいた群衆の中にはパウロのことをあざ笑う者がありました。また、関心がないという点では同じでしたが、比較的丁寧な言葉で次のように語る者もいました。「この事については、いずれまた聞くことにする。」（使徒17：32）

アテネ人のパウロに対するこのような反



的のかなたに
目を向けると
き、キリスト、
すなわち救いを得さ
せる天の下における
唯一の名のかなたに
目を向けることになり
ます。

応は、さらにさかのぼった時代の預言者ヤコブが描写した人々の反応と大差はありませんでした。「しかし見よ、ユダヤ人は強情な民であって、彼らは分かりやすい言葉を侮り、預言者たちを殺し、自分たちの理解できないものを求めた。それゆえ、彼らはあかしのかなたに目を向けたために盲目となり、盲目のために墮落しなければならなかった。神が分かりやすいことを彼らから取り去り、彼らが理解できないことを多く伝えられたからであり、彼らがそれを望んだためである。彼らが望んだので、神はそうに行われ、彼らはずまずいた。」(モルモン書ヤコブ4:14。強調付加)

今日も、一部の人々の中に、基本的な福音に関する証を持ち続けるよりはむしろ「あかしのかなたに目を向ける」傾向が見受けられます。人の哲学を福音の真理と擦り替えるとき、福音に対して狂信的になるとき、また目立たない日々の奉仕をよそに勇敢な行為を追い求めたり、教義よりも規則を重視したりするとき、「あかしのかなたに目を向け」るのです。このような行為を避けることで、ヤコブが語ったように神の教えに対して盲目になってつまづくのを避けられるのです。

人の哲学を福音の真理と擦り替える

ある人々は救い主の単純な教えに気恥ずかしさを感じているようです。そのような人々は真理を複雑で、さらには不明瞭なふみりようものにさえしたいと願います。真理をより知的な魅力にあふれた、現代の学問の潮流に合うものとするためです。かつて背教が起こった理由の一つは、このような問題があったためでした。初期のキリスト教徒はギリシャの哲学的な伝統を取り入れ、自分たちの信仰を既存の文化と調和させようとしたのです。歴史家のウィル・デュラントは次のように記しています。「キリスト教は異端を破壊したのではなく、取り入れた。滅びかけていたギリシャ精神は新たな命を得て生まれ変わった。」²

ある人々は霊的な未熟さから、自分を洗練された人間、知的な人間に見せようとしています。啓示を受け入れるのではなく、事細かく分析し、異なる解釈や変更を加え、啓示の持つ美しい真理を曲解しようとするのです。十二使徒定員会のニール・A・マックスウェル長老は次のように指摘しました。「ユダヤ人は……福音を拒絶しました。それは一つに、十分な知的装飾に欠けているという理由があったからです。」³ 単純な福音の真理をあるがまま受け入れようと

しないときに、あかしのかなたに目を向けることになります。

福音に対する狂信的な態度

霊的な未熟さ、あるいは時として背教を表すもう一つのしるしは、特定の福音の原則にばかり目を向けることや、「興味本位の福音」をあまりにも熱心に追い求めることです。ほとんどの場合そうですが、過度の美德は悪徳となる恐れがあります。

いつの時代にも、種々の教義に多くの要素を付け加えたる会員がいます。例えば、中央幹部が公認していない品目を知恵の言葉に付け加えるべきだと主張し、そのような解釈を取り入れるよう周囲に勧める人々です。健康の律法やほかのいかなる原則をも一種の宗教的狂信に変質させるときに、あかしのかなたに目を向けることになります。

会員の中には、権能がないのに中央幹部に代わって語ろうとする人がいます。自分のメッセージは「堅い食物」であり、中央幹部が「乳」以外のことを教えるよう許可されたときにのみ話す事柄であるとほめかすのです。また中央幹部に助言をしようとしたり、自分たちが望む教えにそぐわない教えをすべて批判したりする人々もいます。

主は大切な教義について、「だれでもこれ以上のこと、あるいはこれに及ばないことを告げる者は、わたしにつく者では……ない。」(教義と聖約10:68) また「これ以上のもの、あるいはこれ以下のものは悪から来[る]」と語られました(教義と聖約124:120)。どれほど価値ある原則であっても、一つの原則だけを極端に重視し、同じように大切なほかの原則に対する決意がおろそかになるとき、また中央幹部の教えに反する立場を取るとき、あかしのかなたに目を向けることになるのです。

日々の奉獻に取って代わる勇敢な行為

ユタ大学理事会会長を務めたジェームズ・S・ジャーディンはブリガム・ヤング大学での講演で、学生時代に「何か華々しい、勇敢な行為に自分の人生をささげることについて」考えたことがあったが、「人生をささげるとは、生涯でたった一度行うようなことではなく、日々の献身である」⁴ということに気づいたと語りました。

わたしも若かりしころ、勇敢な行為によって自分がどういふ人物か示したいと思ったことがあります。わたしの曾祖父デビッド・パッテン・キンボールは、マーティン手車隊の人々を抱きかかえてスイートウォーター川を渡る手助けをしたあ



の若者の一人でした。自分の求める奉獻とは、そのような種類のものだと考えていました。後に、祖父のクロージャー・キンボールを訪ねた際に祖父が説明してくれたのは、ブリガム・ヤング大管長から救援の使命を受けて派遣された若者たちは、どんなことをしても手車隊を救うようにという指導を受けていたということでした。彼らの奉獻とは、具体的に言えば、「預言者に従う」ことだったのです。祖父は、自分に与えられた義務や一つの原則に対し、首尾一貫して、また信仰をもって献身することは、ほんとうに尊いことだと教えてくれました。開拓者たちを救出したデビッド・パッテン・キンボールが勇ましかったのと同じように、不道徳な映画を見ない、あるいは乱暴な言葉を使わないことを通して預言者に従うことは、今日において勇敢なことなのかもしれません。

わたしの伝道部長は、今話したような事柄をわたしが理解できるように秩序正しく整理してくれました。勇敢な行為を追い求めることで、的のかなたに目を向けることがあると教えてくれたのです。伝道部長は、次のようなすばらしい詩を教えてくださいました。

ただ一度の強烈な力の放出により
人は英雄の極みに到達することもあろう。
そしてひとときの間、
天のまばゆい光を浴びることもあろう。
しかし、もっと困難なもの、それは日々の煩いなのである。
人を悩ませ困憊させる試練にほほえみかけ、
つづやくことなく、また萎えることもない。
偉大さを測る試金石、
それは永遠に続く日常に
どう立ち向かうかということなのである。⁵

何か大きな召しを与えられたら熱心に打ち込むと公言する会員がいます。しかし、ホームティーチングや訪問教師の召しは価値がない、あるいはあまり華やかではないという理由で、努力を怠ります。

神は「わたしたちのわがによるのではなく、神ご自身の計画に基き」わたしたちを用いられます（2テモテ1:9）。奉獻が条件付きであったり、日々の献身を伴わなかったりする場合、わたしたちは的のかなたに目を向けることになるのです。

教義よりも規則を重視する

救い主は、人が教義よりも規則を重んじるのを懸念しておられました。マタイによる福音書第23章23節には次のように記されています。「偽善な律法学者、パリサイ人たちよ。あな

現世における最大のチャレンジの一つ、それはキリストをそのあるがままに、すなわち復活された世の救い主、贖い主、わたしたちの主、天の御父とわたしたちの間の執り成しをしてくださる御方として受け入れることです。

たがたは、わざわいである。はっか、いのんど、クミンなどの薬味の10分の1を宮に納めておりながら、律法の中でもっと重要な、公平とあわれみと忠実とを見のがしている。それもしなければならぬが、これも見のがしてはならない。」

十二使徒定員会のブルース・R・マッコンキー長老(1915-1985年)は、的のかなたに目を向けることに関するヤコブの教えが、イエスが地上におられたときのユダヤ人に当てはまると指摘しました。

「ユダヤ人は、純粋な宗教の中から分かりやすく簡単な教えを選び、自分たちの勝手な解釈を加えました。多くの儀式典礼を付け足し、飾り立てたのです。礼拝から幸福と喜びを奪い、儀式典礼による制約的で縮小された、よどんだ制度へと変質させたのです。主の律法の持ついきとした精神はユダヤ人の手で塗り変えられ、形骸化したユダヤ人特有の儀式主義に陥ったのです。」⁶

ほとんどの場合、教義は「なぜ」という質問に、原則は「何を」という質問に答えてくれます。なぜするのか、または何をすることかということから目をそらして、「どのように」することかということばかり力説するとき、的のかなたに目を向ける危険性があります。少なくとも、パウロがコリント人に語った次のようなわなに陥ることがあるのです。「文字は人を殺し、霊は人を生かす。」(2コリント3:6)

十二使徒定員会のダリン・H・オックス長老は、アロン神権の執事の職の兄弟たちに聖餐会の教義と原則を教えることを例に挙げました。聖餐を配るときの規則(例えば、可能なならば白いシャツを着てネクタイを締め、敬虔な雰囲気を妨げないように聖餐を配る、など)を守ることによって、主が聖餐会でわたしたちに行ってほしいと願っておられる事柄(敬虔な態度で聖約を新たにし、贖いを思い起こすこと)⁷が支えられていることを理解させるためです。わたしたちは多くの分野で、規則ではなく、教義や原則によってのみ導きを受けます。預言者ジョセフ・スミスは次のように教えました。「わたしは人々に正しい原則を教えて、人々に自らを治めさせる。」⁸ そのような状況においてどう反応するか、それがわたしたちの主に対する責任なのです。

教義や原則に目を向けず、ひたすら規則に従う人々は、特に的のかなたに目を向けやすくなります。また同じように、規則に縛られる人々や、絶えざる啓示によって現れる変化を進んで受け入れない人々も危険な状態にあります。

「的」はキリストである

的のかなたに目を向けるとき、キリスト、すなわち救いを得

させる天の下における唯一の名のかなたに目を向けることとなります。十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老はこう語っています。「ヤコブはユダヤ人が『的のかなたに目を向け』、イスラエルの聖者、すなわちイエス・キリストという名で知られる文字どおりの神の御子を見失うことを知っていました。『ユダヤ人〔は〕、自分たちがつまずいたためにそのつまずいた石を拒む……。その石は、その上に建物を建てることのできる安全な土台であった。』」⁹

現代における大きな悲劇の一つは、いわゆるキリスト教学者と呼ばれる人々が、イエス・キリストの神性を認めようとしないことです。ある学者にとってイエス・キリストは、単なる偉大な教師でしかないのです。これは的のかなたに目を向けている究極の形と言えます。このようなことはヤコブの時代にも起こりました。イエス・キリストがこの地上におられた、時の絶頂の時代にも起こりました。そして福音が地上に回復された現代においても起こっているのです。

現世における最大のチャレンジの一つ、それはキリストをそのあるがままに、すなわち復活された世の救い主、贖い主、わたしたちの主、天の御父とわたしたちの間の執り成しをしてくださる御方として受け入れることです。キリストがすべての行動や人格を支える岩となられるときに、わたしたちは的のかなたに目を向けて霊的な意味で盲目になることを避けることができます。キリストが約束されたあの栄えある祝福を刈り取ることができるのです。「祝福された者よ、わたしのもとに来なさい。」主は御自身に従う人々にこう語っておられます。「わたしの父の住まいには、あなたのために用意された場所がある。」(エノス1:27) ■

注

1. フレデリック・W・ファーラー、*The Life and Work of St. Paul* (1898年)、386-387
2. *Caesar and Christ* (1944年)、595。ニール・A・マックスウェル、*Lord, Increase Our Faith* (1994年)、23で引用
3. *Lord, Increase Our Faith*, 47
4. *On Becoming a Disciple Scholar: Lectures Presented at the Brigham Young University Honors Program Discipline and Discipleship Lecture Series*, ヘンリー・B・アイリング編 (1995年)、78
5. エドモンド・パンズ・クック、"The Eternal Everyday," *Impertinent Poems* (1907年)、21
6. *The Mortal Messiah*, 全4巻 (1979-1981年)、第1巻、238
7. 「アロン神権と聖餐」『リアホナ』1999年1月号、41-43参照
8. ジョン・テラーによる引用、*Millennial Star*, 1851年11月15日付、339
9. *Christ and the New Covenant: The Messianic Message of the Book of Mormon* (1997年)、72

家族を靈的に強め、備える

以下のメッセージから訪問先の姉妹たちの必要に合った聖句や教えを祈りの気持ちで選び、読んでください。自分の経験や証を分かち合い、あなたが教える人々も同様に行うよう勧めてください。

大管長会——「家庭は義にかなった生活の基であり、ほかのどのような手段も、家庭に代わる役割を果たし得ませんし、神から与えられたこの責任を遂行するうえでの大切な役割を果たしてはくれません。

わたしたちは親の皆さんと子供たちに、家族の祈り、家庭の夕べ、福音の研究と指導、そして健全な家族活動を最優先するようお勧めします。必要とされるその他の事柄や活動がどれほど価値のある適切なものであったとしても、それらは、親と家族だけが全うできる天与の義務に取って代えられるものでは決してありません。」(大管長会からの手紙、1999年2月11日付。『リアホナ』1999年12月号、1参照)

大管長 ゴードン・B・ヒンクレー——「子供たちを愛してください。大事に育ててください。子供たちはこの上ない大切な存在です。未来は子供たちの中にあります。子育ては自分自身の知恵以上のものが求められます。主の助けが必要です。主の助けを祈り求め、与えられる靈感に従ってください。」(「信

仰と証があやなす織物」『聖徒の道』1996年1月号、99)

モーセ第5章11節から12節——「エバは、これらすべてのことを聞き、喜びながら言った。『わたしたちの背きがなかったならば、わたしたちは決して子孫を持つことはなく、また善悪も、贖いの喜びも、神がすべての従順な者に与えてくださる永遠の命も、決して知ることはなかったでしょう。』アダムとエバは神の名をたたえ、息子、娘たちにすべてのことを知らせた。」

十二使徒定員会 ヘンリー・B・アイリング——「家族でともにひざまずいて謙遜な祈りをささげ、一人一人に祈る機会を与えます。祈りが機械的になったり、祈っていない子供がそわそわしたりすることがあるかもしれません。しかし、家族のだれかが信仰をもってほんとうに必要なものを願い求め、皆が聖靈の証を心

に感じるとき、それはきわめて貴重な瞬間になるでしょう。わたしは母の教えをあまり思い出せませんが、母の祈りはよく覚えています。わたしは母の愛を感じ、母が天の御父と救い主を愛し、母の祈りがこたえられることを、御霊を通して確信することができました。母はわたしたちに祝福をもたらし、母の祈りは今もわたしたちの心に生きています。」(「証という受け継ぎ」『聖徒の道』1996年7月号、72)

中央扶助協会会長 ボニー・D・パーキン——「家族を靈的に強めることは、家庭という囲いの中から始まります。わらぶきの家や豪邸に住んでいても違いはありません。めいやおい、いとこ、孫にも手を伸べ、ワードの初等協会に集う子供たち、若い女性、若い男性をも強めてください。そして近所や地域に住む人々へとその手を広げるのです。そのためには、まず頻繁に証を述べることから始めます。子供たちの能力や才能を信じ、成功談と同様に苦労した経験も話して聞かせます。子供たちをせかし、しかるのではなく、抱き締めて耳を傾けるのです。信仰によって何かを達成したときの話をしてください。物語や教えを通して、聖文を身近なものにしてください。人の欠点を赦し、人からの赦しを請うてください。もちろん、一度にできることではありません。ひたすら継続するのです。子供たちや自分自身のこと決してあきらめてはいけません。」

- 自分自身や家族の靈性を強めるにはどうしたらよいでしょうか。
- 子供を育てるうえで、主の助けがどうしても必要なのはなぜでしょうか。■



きょう

「今日」 という日に



N・エルドン・タナーは1962年に使徒に聖任されました。1963年に大管長会に召され、1982年に亡くなるまで、副管長として仕えました。この記事で、タナー副管長は、今日始めることによって永遠の命に備えなさいと教えています。



副管長

N・エルドン・タナー（1898-1982年）

今日が生涯の最後の日
 旅路の最後の日であるなら
 今から精いっぱい努力をしたところで
 果たして、どれだけ価値ある人間になれるのか。
 どれだけのもを、神のもとに携えて行くことができるのか。
 ——作者不詳

人 生とは一体何でしょうか。この有名な詩はそれを端的にとらえています。人は生まれ、生き、そして死にます。それは何のためでしょうか。自己が存在する理由と永遠の行く末について知り、理解することで、わたしたちは人生をどのように生きるか、また人生において真実大切なものをどのようにして選び、選んだものにどう取り組んでいくかを決定することができるのです。

だれもがこう思うことでしょう。「今日は残された生涯の最初の日だ。さあ、今から永遠の命を受けられるよう備えを始めよう。これから永遠にわたって完全な喜びと幸福を味わえるようにしよう。」結局、これがわたしたち一人一人の望んでいることです。そして何よりも大切なのは、時間を割いて永遠の命を得る方法を見だし、その方法に従って今日から毎日努力することです。

一日一日

永遠の命を得るためには、福音を研究し、学び、福音に対する知識と理解を深めなければなりません。そして学び得たものを毎日毎日生活に取り入れることによって、信仰と証あかしを強めるのです。これは自らの救いになくはならないものであり、また、愛する人々やこの幸福と祝福を味わってほしいと願う人々を感化するうえでも欠かせないものです。

福音は、わたしたちが物心両面の恵みを受けるうえで、どのように振る舞えばよいかを教えるためにあることを常に覚えていてください。教会の集会に出席し、聖餐せいさんを受けレッスンに参加しながら、家族や隣人、地域社会の人々が必要としていることに耳を貸さず、不正直に、または礼節をわきまえずに振る舞っているとしたら、十分とは言えません。

また、善良で立派な市民であり、慈善事業に寄付し、地

域団体に奉仕し、一般的な良いキリスト教徒として生活を送るだけでも十分ではありません。このような生活は確かに称賛に値するものですが、天の御父が、御自分を愛しその戒めを守る者に約束されている完全な喜びと永遠の命を受けけるには十分とは言えないのです。

わたしたちの義務

聖典の物語を思い起こしてみましょう。ある人が救い主に近寄って来てこう言いました。

「先生、永遠の生命を得るためには、どんなよいことをしたらいいでしょうか。」

イエスは言われた、「……もし命に入りたいと思うなら、いましめを守りなさい。」（マタイ19：16-17）

聖文には、戒めとは何か、繰り返し述べられています。また永遠の命を得る、つまり神とともに住むためには、神の教会すなわち王国において正しい権能によりバプテスマを受けなければならないことが再三語られています。バプテスマを受け、真の教会の会員となるとき、その教会の会員であることに対して責任を負うのです。

わたしたちは自分の義務を学び、任命されている職務をまったく勤勉に遂行するように勧告されています。また、そのように行わないならばその職にいるにふさわしい者と見なされないと警告されています（教義と聖約107：99-100参照）。

訓練を通して完全になる

正しい道を進み、目標を達成して最終的に永遠の命を得るにはどうしたらよいでしょうか。それには自らを鍛錬し、神が与えられた可能性と究極の目的を実現するうえで妨げとなる習慣や弱点を日々悔い改めることしかないのです。人生において価値あるものを手にするために、わたしたちは絶えず努力しなければならないことをよく知っています。

ゴルファーは試合に臨む前に、何時間も同じショットの練習をするものです。音楽家や画家、演説家は皆、熟練するためには、勉強と練習を積みなければなりません。そうであるなら、天の御父の業を遂行するために準備することはなおさら大切ではないでしょうか。御父は賢明な栄えある目的があつてわたしたちをこの地上に送ってくださったのです。

より良い業を行おうと決心することの大切さについて思い巡らすとき、どのような決心をするのか慎重に考慮し、何のために決心するのかを考えましょう。そして最後に、

どんな障害に遭っても心に決めたことを守り抜くという決意をするために、自らを訓練しましょう。一日の始めに、今日だけなら決心したことを守れると思うようにしましょう。これは実行するにつれて次第に容易になり、やがて習慣となります。

すばらしい一日を送る

福音を聞いて教会に入りたいと思いながらも、知恵の言葉をなかなか守れない若い女性がいました。たばことコーヒーを常用していた彼女は、一生たばこも吸えなければコーヒーも飲めないと思うと気持ちがくじけました。宣教師の一人が、まず1日だけ試してみるようその女性に勧めました。そしてまた次の1日だけ試してみるように言ったのです。この女性は1日、1日とたばこコーヒーのない生活を送ることによって、知恵の言葉を守れることが分かり、間もなくバプテスマを受けました。何であれ、悪い習慣を良い習慣に改めるときには、同じことが言えます。

人生で得られる最高の祝福は、救い主の教えに添った一日を過ごし、課せられた務めをなし終えたという満足感を覚えながら、心安らかに夜、床に就くことです。

わたしたちは残された生涯の最初の日を迎えました。鍛錬と決心という二語を心に留めて、今年1年が自らと自らの家族、また隣人にとって良い年となり、すばらしい生活を送れるようにしましょうではありませんか。次に挙げるような決意、または自らが心に決めた事柄を基に、新しい一日一日を始められたらすばらしいでしょう。

「今日」という日に

- 熱心に祈り、天の御父を呼び求めます。導きを受けられるよう聖霊の勧めに耳を傾けます。
- 祈りを通して、神と御子イエス・キリストへの愛を「表します」。また、隣人に仕えることによって御二方への愛を「示します」。
- 福音を学び、さらに理解できるように努めます。
- まず神の国と神の義を求めます。
- 神の預言者の勧告に耳を傾け、心に留めます。聖約と戒めを守ります。
- 言葉と模範によってだれかに福音を伝えます。
- 教会の標準に従います。
- 家族に対する愛を言葉と行いで示します。
- どんなことにも正直に振る舞います。
- 割り当てられた責任を果たすために自らを備えます。

- 今日だれかに親切にします。
- すべての祝福を認め、感謝します。
- 忠実であるべき事柄に対して忠実になります。

最終的には、信仰箇条第13条に見られるような決心をし、それを常に実行に移すことに勝る道はありません。「わたしたちは、正直、真実、純潔、慈善、徳高くあるべきこと、またすべての人に善を行うべきことを信じる。実に、わたしたちはパウロの勧告に従うと言ってもよい。わたしたちはすべてのことを信じ、すべてのことを望む。わたしたちはすでに多くのことを堪え忍んできており、またすべてのことを堪え忍べるようにと望んでいる。どのようなことでも、徳高いこと、好ましいこと、あるいは誉れあることや称賛に値することがあれば、わたしたちはこれらのことを尋ね求めるものである。」■





人生で得られる
最高の祝福は、
救い主の教えに
添った一日を過ご
し、課せられた務め
をなし終えた
という満足感を
覚えながら、
心安らかに夜、床に
就くことです。



家族

についての

本音

スコット・ビーン

学校が始まる数週間前のことです。友達のグレースとロンと3人で、玄関先のポーチに座って話していました。しばらくすると、グレースは父親の悪口を言い始めました。グレースは、普段からよく父親のことを悪く言います。

「そばにいただけで、恥ずかしくて恥ずかしくて。いらいらするのよ、いつも……。」こんな調子で欠点を並べ立て、父親に対する不満を次から次へと吐き出しました。

今度はロンの番です。ロンも家族について話し始めました。母親が外に出かけてばかりだし、服装も気に入らないと言いました。門限があるのも不満だし、父親がよくどなるのも嫌でした。

二人が話している間、ポーチのブランコにじっと座っていたぼくは、次は自分が話す番だと思いました。でも、家族のことを嫌いだなんてとても言えません。ぼくの家族は、ぼくが生まれてからすでに5回も引っ越していました。そのおかげで、兄、姉、ぼくの3人きょうだいは、強いきずなで結ばれていました。互いを頼りにし、かばい合ってきたのです。3人が仲良くしていることを母が誇りに思うほどでした。

そんなことを考えていると、グレースがぼくに向かって言いました。「スコットの家族はどう。」

ぼくはすぐに答えられませんでした。言葉を慎重に選んでいたのです。これから話そうとしていることは、ぼくの信条そのものだったからです。とうとう口を開いて話し始めました。すると、言うべきことを御霊から教えられているような気がしてきました。自分の家族をどれだけ大切に思っているか話しました。そして、家族と永遠に一緒にいたいと望んでいることも話しました。その間、グレースとロンは黙って聞いていました。ぼくは二人に、家族に対してもう少し忍耐強くなるように勧めました。細かい欠点を気にするよりも、もっと大切なことに目を向けるように言ったのです。

それから、ぼくは家の中に駆け込み、大管長会と十二使徒定員会が発表した『家族——世界への宣言』を取って来ました。グレースとロンに、7番目の段落を聞いてもらったのです。家族関係の基礎となる大切な特質についておもに書いてあります。「家庭生活における幸福は、主イエス・キリストの教えに基づいた生活を送るときに達成されるに違いありません。実りある結婚と家庭は、信仰と祈り、悔い改め、救し、尊敬、愛、思いやり、労働、健全な娯楽の原則にのっとりて確立され、維持されます。」(『リアホナ』1998年10月号, 24)

この言葉を読んで、次のように言いました。「ぼくの家族はこれを信じているんだ。こういう家族になりたくて、



これを目標に頑張っている。ここに書いてあることが全部できるようになれば、裁きの日に、家族と一緒に堂々としていられる。永遠に一緒だって確信してね。」

グレースとロンがぼくの話をもどのように受け止めたかは分かりません。二人ともその後、ずっと黙っていたのです。ぼくたち3人はしばらくそこに座ったまま、それまでの会話をじっくり考えていました。

後になって、いろいろな思いが浮かびました。家族に関する教会の教えを友達に紹介できた、つまり伝道に出る準備ができつつあることに、誇りを感じました。反面こんな不安も感じました。「正しい方法で伝えることができたのだろうか。」「福音についてもっと話そうとしていたら、二人はどう思っただろうか。」

その夜、寝支度をしてから聖典をめくっていると、教義と聖約の第4章が目にとまりました。そこには、「心と、勢力と、思いと、力を尽くして」主に仕えるなら、「終わりの

日に神の前に罪のない状態で立てる」とあります（教義と聖約4：2）。

もちろん、友達同士で意見が合わないことは今でもよくあります。けれど、自分の宗教や信条について話したからといってほんとうの友達を失うことはないということが、この経験を通してよく分かりました。グレースとロンは教会に入りませんでした。今でも友達です。自分が信じていることを伝えられてよかったと思います。グレースもロンも、家族や宗教についての信条をすぐに変えることはありませんでしたが、それは大したことではありません。粘り強くあることで伝道が成功したという話は幾らでも聞きます。ぼくの場合も同じような結果にならないとも限りません。■

スコット・ビーンはネブラスカ州オマハステーク、エルクホーンワードの会員です。

「スコットの家族はどう。」
友達から
そう聞かれたとき、
本音を話す機会、
つまり家族や福音に
ついて正直に話す
機会が訪れました。

若い女性から扶助

キャサリン・ルーベック・ピーターソン

ブラジルのジュンジャイステーキ、コロニアワードの会員、ジュリアーナ・サーシ・ダコスタ姉妹は、18歳になったとき、扶助協会へ移行することに不安を感じました。ジュリアーナはこう述べています。「独りぼっちになったらどうしよう、大人の姉妹たちと楽しくやっていたらどうしようと心配しました。やはり最初はあまり居心地よくありませんでしたが、徐々に、主がすべてのことに目的を持っておられるのだということが分かってきました。打ち解けるのは簡単だったと言うつもりはありませんが、主が助けてくださったことと、姉妹たちが親切にしてくださったことに感謝しています。」

ジュリアーナが所属する扶助協会の会長、リタ・リベレロ・パンドルフィ姉妹は、ジュリアーナが早く慣れるように、大切な役割を果たしました。リタはこう述べています。「支部では、若い女性たちを扶助協会に温かく歓迎しています。若い女性から扶助協会に移行する時期の姉妹たちがいろいろな変化に対応しなければならないことを承知していますから。」

ジュリアーナのように、扶助協会へ移行することを「新しい環境へ順応するつらい経験」と感じている若い女性も多いようですが、皆が皆、扶助協会への移行を不安がっているわけでもありません。喜ばしい通過儀礼だと感じている若い姉妹もいるのです。例えば、ノースカロライナ州ダーハムステーキ、チャペルヒル第1ワードのレーチェル・クラマー姉妹はこう述べています。「12歳になって若い女性に入ったときも、18歳になって出て行くときも、ごく自然に受け止めました。扶助協会に入って見て、姉妹たちが賢明で、福音に調和した徳を身に付けて生活していると感じました。福音についてもっと深い話をしたり、尊敬できる多くの姉妹たちの仲間に入れたりするのがうれしかったです。」



力協会へ

若い女性から
扶助協会へ
移行する姉妹
たちは、
愛され大切に
されていると
感じる必要が
あります。





扶助協会に加わる心の準備ができていないか否かにかかわらず、移行して来たばかりの若い女性が全員必要とすることがあります。愛され大切にされること、友人を得ること、学ぶこと、御霊を感じることに、組織の一員となることです。若い女性から扶助協会への移行をよりスムーズに行うための、経験に裏打ちされた知恵が幾つかあります。まず、若い女性と扶助協会の会長会で適切な計画を立てること、そしてフェローシップをすること、最後にワードや支部の会員が強力な援助体制を築くことという順でご紹介しましょう。

指導者たちの協力

『教会指導手引き』には、扶助協会への移行のために基本的に必要となる事柄が示され、若い女性と扶助協会の両方の会長会が協力するように勧められています(『教会指導手引き第2部神権指導者・補助組織指導者』209-210, 219参照)。

例えばあるステークの扶助協会会長会は、新しく入って来る若い女性についてよく知るために、毎年若い女性のキャンプで食事を作って給仕をしています。ユタ州オレム北ステークの扶助協会会長であるキャロライン・ラスマスは、次のように述べています。「わたしたちは各ワードのキャンプ場へ朝早くから出かけて行きます。料理は、お皿に載せてあげられるものを作るようにしています。そうすれば、盛りつけるときに一人一人と話せるからです。少女たちの感想は、好意的でした。わたしたちがジーンズをはいて来たとか、汚れても気にしないで助けてくれたとか、時間を割いてキャンプ場へ来てくれたとか、そんなふうに言ってくれたのです。この活動を通して、わたしたちのことを『気軽に話せる姉妹たち』と感じてもらえればと思っています。」

メキシコのクアウトラスステーク、ビベロスワードの扶助協会会長、イベリア・デ・ホヨス姉妹は、こう述べています。「毎年10月、ワードの扶助協会会長会は、独身成人代表と一緒にローレルのクラスを訪問することになっています。訪問の際には、『扶助協会の宣言』、扶助協会の歴史と目的、教育の大切さ、個人を豊かにすること、家族や家庭、慈善奉仕、家庭訪問などにつ

いて話しています。」

訓練集会で若い女性が必要としていることについて定期的に採り上げているステークもあります。テキサス州サンアントニオステークの扶助協会会長マルガリータ・ウッドハウス姉妹は、このように述べています。「若い女性と扶助協会の両方の指導者訓練会で、若い女性の必要に重点を置くようにしています。若い姉妹たちがもっと活発に参加できるような計画を立てることは、将来の扶助協会を強めることにつながりますからね。」

ウッドハウス会長はこう付け加えています。「移行期間には、扶助協会の活動に若い女性指導者が出席していることがとても大切だということに気づきました。移行期の姉妹たちは、集会に出席したときに、大好きな若い女性の指導者の顔を探しているようです。若い女性の指導者を(自分の母親は別として)扶助協会での模範として見ているのです。」

ワード/支部、ステーク/地方部で、若い女性と扶助協会の姉妹たちが一緒に参加できるイベントを計画しているところも数多くあります。イギリスのヨークステーク、ハロゲートワードのダイアナ・ガードナー姉妹は、扶助協会の姉妹たちがエンダウメントを受けると、ローレルの少女たちが死者のためのバプテスマを受けるのを、同じ夜に行うことを提案しました。ガードナー姉妹はこう述べています。「ローレルの少女たちと扶助協会の姉妹たちは食堂で夕食を共にし、その後、神殿の周りを散歩しました。若い女性たちは、このときの語らいから大きな影響を受けたようです。」

「家庭・家族・個人を豊かにする集会」に出席することが、扶助協会への移行にとっても役立ったという例もあります。フロリダ州オーランド南ステーク、プレザントヒルワードのビッキー・ハッキング姉妹は、こう述べています。「わたしが若い女性だったとき、扶助協会の姉妹たちはローレルの子たちをよく集会に招いてくれました。わたしたちでも楽しめるような手芸のクラスもよくやってくれたし、時には、母親と娘のためのクラスもありました。こんな集会のおかげで、わたしにも居場所があるって感じられたし、18歳になったら扶助協会に絶対出席しようと思うようになったんです。」

イギリスのビリンガムステーク、ビリンガムワードでは、若い女性の指導者が扶助協会の姉妹たちを数人招待して、奉仕活動として若い女性たちと一緒にクリスマスのプレゼント作りをしました。ビリンガムワードの若い女性第二副会長であるアン・ヘルプス姉妹は次のように述べています。「若い女性と扶助協会の姉妹たちが一緒に集まって座り、気楽な雰囲気の中でおしゃべりしたり笑ったりしながら仲良くしている様子は、ほほえましいものでした。少女たちが抱いていた固定観念は

壊れたと思います。年配の姉妹たちもかつては若い女性だったということや、今でも何かを楽しむんだということに気づいてくれたと思います。』

奉仕の機会

扶助協会へ入って来たばかりの若い姉妹たちを、活動の計画やレッスンや奉仕に参加させましょう。そうすれば、さらに扶助協会の精神を感じてもらえるはずです。すぐに訪問教師を割り当て、家庭訪問をする側の責任も割り当てれば、奉仕の機会とともに、友達を作る機会も与えることになります。また、扶助協会の委員に召したり、何かの責任を割り当てたりしてもよい

でしょう。

物おじしない姉妹の場合、移行して間もないうちからレッスンを教えるように勧めているワードや支部もあります。ユタ州バウンティフル中央ステーク、バウンティフルヒルズワードの扶助協会会長スーザン・バーニンガム姉妹はこう述べています。「若い姉妹たちの若々しい物の見方から、心に残る力強い影響を受けることがよくあります。ある若い姉妹が教えたときに、日記の一部を紹介してくれましたが、そのレッスンは忘れられません。別の折には、二人の若い姉妹とそれぞれの母親が、清く高潔な生活を送ると決意したときのことを述べてくれました。』

奉仕の機会は喜びをもたらし、目的意識を与えてくれます。慈善奉仕や人道援助の活動を行っている姉妹がいたら、移行して来たばかりの



写真／©フォトテイスク

扶 助協会へ入る姉妹たちは、愛され大切にされていると感じると同時に、
友達を作り、学び、
御霊を感じ、組織の一員となる必要があります。



愛されていると感じる



「扶助協会に入る若い女性たちを温かく迎えてください。安心して居心地よく集い、姉妹たちとの交わりを通して主の愛を感じる事ができ

るようにしてください。若い姉妹たちは扶助協会に、自分に心を向けてくれる姉妹たちに出会う必要があります。また、若い姉妹自身もほかの姉妹たちを愛することを学ばなければなりません。扶助協会はそのような場所なのです。新しく扶助協会に加わった姉妹たちに助言します。『輪の中に入り、自分のことを忘れてください。』そうすれば、幾つもの素晴らしいことが起こるでしょう。」

中央扶助協会会長
ボニー・D・パーキン

姉妹にその手伝いを頼んでもよいでしょう。アイダホ州ポカテロ東ステーキ、プリンストンワードのターゲン・スペンサー姉妹はこう述べています。「ホームワードの姉妹は大部分が年配ですが、わたしが扶助協会へ入ったときには、皆が温かく迎えてくれました。人道援助活動の手伝いをしに行ったとき、ご主人を亡くしたワードの姉妹たちの多くと一緒にになりました。その日は、中古衣料の仕分けを一緒にするよう割り当てられていました。ある姉妹が出かける前に電話をくれて、車に乗せていただくことになりました。奉仕が終わった後も、昼食に連れて行ってくださいました。作業の途中だれかが中古のウェディングドレスを見つける度に、連れて来てくれたその姉妹がドレスを引っ張り出してわたしに手渡して笑うのです。とても楽しい時間を過ごしました。その日、わたしは奉仕について証あかしを強めただけでなく、姉妹たちとのきずなも深めることができました。」

若い女性へのフェローシップ

新しい姉妹を扶助協会へ歓迎するために、特別なイベントを計画するのもよい考えです。若い女性一人一人に1輪の花や、額に入った「扶助協会の宣言」を贈っているところもありますし、新しい会員一人一人に注目が集まるようにしているところもあります。あるワードの会長は「あなたの心に扶助協会の種を植えてください」と書いた招待状を作り、種の入った袋と一緒に若い女性の家へ届けたということです。

若い女性を歓迎し、愛の気持ちで受け入れれば、姉妹同士のきずなを強めることになります。隣に座って話しかけられたり、趣味や生活ぶりについて聞いてもらったりすることは、新しい姉妹たちにとって大切なことです。若い姉妹たちの多くは、若い女性のときに指導者から一対一で親切に接してもらっていたので、扶助協会では出会ったばかりの姉妹たちからも同じように愛される必要があるのです。

ジョージア州ローズウェルステーキ、ノースポイントワードのタラ・トースレー姉妹はこう述べています。「初めて親もとを離れてアトランタへ引っ越して来たばかりだったので、当然のことですが、ちょっと心細かったんです。聖餐会せいさんの間中、家へ帰りたいたいと思いながら座っていました。会が終わった途端、とても立派な姉妹がそばへ来て自己紹介を始めました。名前を

告げて、扶助協会の会長であるとおっしゃいました。それから扶助協会の部屋の場所を教えてください、会えてとてもうれしいと言ってくださいました。それで、すぐに気が楽になりました。」

扶助協会へ入って来る若い女性一人一人の名前を覚えるようにチャレンジした会長もいます。彼女は新しく入って来る若い女性全員の写真と短い紹介文を姉妹たち全員に配りました。おかげで姉妹たちは、若い女性一人一人の名前を覚え、友達になることができたのです。

ローレルのクラスに出席し、若い女性一人一人にカードを渡し、自分の名前とワードの中で特にすてきだと思ふ5人の姉妹の名前を書いてもらった会長もいました。そして、名前が挙がった姉妹全員に手紙を書き、ローレルの姉妹からいかに称賛されてい

るかを説明したのです。手紙を受け取った姉妹たちは、若い女性に特別な関心を抱くようになりました。

夏に帰省する若い姉妹は、いつもワード内にいる姉妹たちと同じように、十分なフェローシップを必要としています。そのことに気づいている指導者も多いことと思います。帰省している間に普段以上の関心を向けられれば、扶助協会の一員としての自覚を強めることができるでしょう。

ところで、フェローシップとは決して一方通行のものではありません。中央若い女性会長であったマーガレット・D・ナドール姉妹はこう述べています。「扶助協会に移行する若い姉妹の皆さんにも、友好的であってほしいと思います。皆さんが強い霊性をはぐくんできたこと、主を愛していること、聖文を愛していること、福音を理解していることを、皆さんを迎えてくれる姉妹たちにも感じてもらえるように努力してください。」

M・E・クレイトンという若い姉妹は、いろいろなワードの扶助協会に所属した経験があります。上手に溶け込む秘訣ひけつは、と聞かれて彼女はこう答えています。

「何と言っても参加することです。若い姉妹たちが集会をもっと楽しめる内容にしてほしいと思うなら、組織の中に入っていくのがいちばんです。そうすれば自分が何に関心を持っているかほかの姉妹たちにも分かってもらえるし、集会の中身も少しずつ変わっていくことでしょう。逆にまったく参加しな

ったら、いずれ自分はだれからも理解されていないと感じるようになると思います。」

イギリスのリーズステーク、リーズ第4ワードのベニー・ロー姉妹は、こう述べています。「指導者であるわたしたちは姉妹たちのために、またどうしたら最も良いフェロシップができるかについて、謙遜に祈らなくてはなりません。そうすれば、最も偉大な指導者である主から、常に道を示していただけることでしょう。」

ほかの羊飼いたちの助け

扶助協会へ移行する時期の若い姉妹を助けるのは、まず若い女性と扶助協会の指導者ですが、ほかの羊飼いたちも若い姉妹たちを助けることができます。両親、若い女性の指導者を経験したことのある人、神権指導者、ホームティーチャー、訪問教師、友人、ワードや支部の家族、インスティテュートの教師などがそうです。こうした人々は、力を合わせて移行期にある姉妹たちのセーフティーネットになり、人生で最も重要な時期にある若い姉妹たちが無視されたり、迷い出たりしないように守ることができるのです。

中央扶助協会会長であるボニー・D・パーキン姉妹はこう述べています。「監督は、若い女性たちが扶助協会についてどのような思いを抱くかに大きな影響を与える存在です。監督が若い女性一人一人と面接し、扶助協会が彼女たちにとってどれだけ価値のあるものか話すならば、大きな差が生まれるでしょう。」監督はまた、若い女性が扶助協会へ入った後も、引き続き関心を払い、面接を行うことによって、助けになることができます。

ブリガム・ヤング大学アイダホ校第4ステーク、BYUアイダホ第56ワード(学生ワード)のケリー・スマースウェート姉妹の経験です。夏の帰省を目前に控えたある日、新学年が始まってアイダホに帰って来たら、9月から1年間、ワードの扶助協会会長になるように召されました。

スマースウェート姉妹はこう述べています。「帰省前に監督から幾つか助言を受けました。それは、実家に帰ったらホームワードの扶助協会の指導者たちをよく観察すること、また、家庭・家族・個人を豊かにする集会などの活動に参加し、夏の間も扶助協会に活発に出席することでした。」

この世は誘惑に満ち、サタンは救い主に従おうとする人を欺こうとしています。ヤングアダルトの姉妹たちを強める努力を怠ることはできません。忠実な末日聖徒たちが、このような若い姉妹たちを取り囲んで、愛し、助け、守るならば、主の祝福が豊かに注がれることでしょう。



タラ・トースレー姉妹はこう述べています。「扶助協会に心から感謝しています。おかげで、人生の次のステップへ進むためによりよく備えることができましたと思います。年上の賢明な姉妹たちと友達になる機会が与えられ、いろいろな意味で証を強める助けが得られました。最初

は居場所を見つけるのに時間がかかりましたが、やがて、姉妹たちが自分の家族のように感じられるようになりました。」

これこそまさに、扶助協会のあるべき姿なのです。

ナドール姉妹はこう述べています。「わたしたちはこのような若い姉妹たちを心から愛し、いつも祈っています。扶助協会へ移ってしまったら、愛も冷めてしまうということはありません。幾つになっても、教会から離れずにいることが姉妹たちにとって非常に大切なことなのです。わたしたちは、彼女たちが18歳になった後もずっと、扶助協会であつた隣の隣に座っている姿を見られるようにと祈っています。」■

キャサリン・ルーベック・ピーターソン姉妹は、カリフォルニア州ニューポートビーチステーク・ハーバーヒルズワードの会員です。



忠 実な末日聖徒たちが、このような若い姉妹たちを取り囲んで、愛し、助け、守るならば、主の祝福が豊かに注がれることでしょう。



イエスの言葉

けん 遜

「わたしは柔和で心のへりくだった者であるから、
……わたしに学びなさい。」(マタイ11:29)



完全なる主、
イエス・キリストは、
言葉と模範を通して
謙遜の意味を
お教えになりました。

七十人
アトス・M・アモリム

救い主はしばしば、わずかな言葉や簡単な行いだけで、驚くべき永遠の原則を強調しておられます。例えば、5,000人に食べさせた後、主は弟子たちに「少しでもむだにならないように、パンくずのあまりを集めなさい」と言われました(ヨハネ6:12)。これは彼らやわたしたちに、浪費を避けるように教えています。また使徒たちが伝道から戻ったとき、イエスは彼らを舟に乗せ、しばらく休むために「寂しい所へ行かれ」ました(マタイ14:13)。これは、時には仕事を離れて休憩することがすべての人に必要であることを思い起こさせます。

謙遜に関する主の教えは、同じように簡潔で力強いものです。たぐいまれな明解さと美しさでつづられた四福音書は、神の御子が人々の間で生活された時代へとわたしたちを導いてくれます。主の崇高な生涯には、高慢や尊大、うぬぼれなどは微塵も見られません。そのうえ、主の言葉には、御父への信頼が絶えず表れているのです。

謙遜に関する主の言葉

謙遜は、主が至福の教えの中で説かれた、最も優れた原則の一つです。山上の垂訓のときに集まった弟子たちに、そして後にアメリカ大陸のニーファイ人たちに、イエスは次の

ように語られました。

「心底謙遜になってバプテスマを受ける人々は、幸いである。……

まことに、わたしのもとに来る心の貧しい人々は、幸いである。天の王国は彼らのものだからである。……

柔和な人々は、幸いである。彼らは地を受け継ぐからである。……

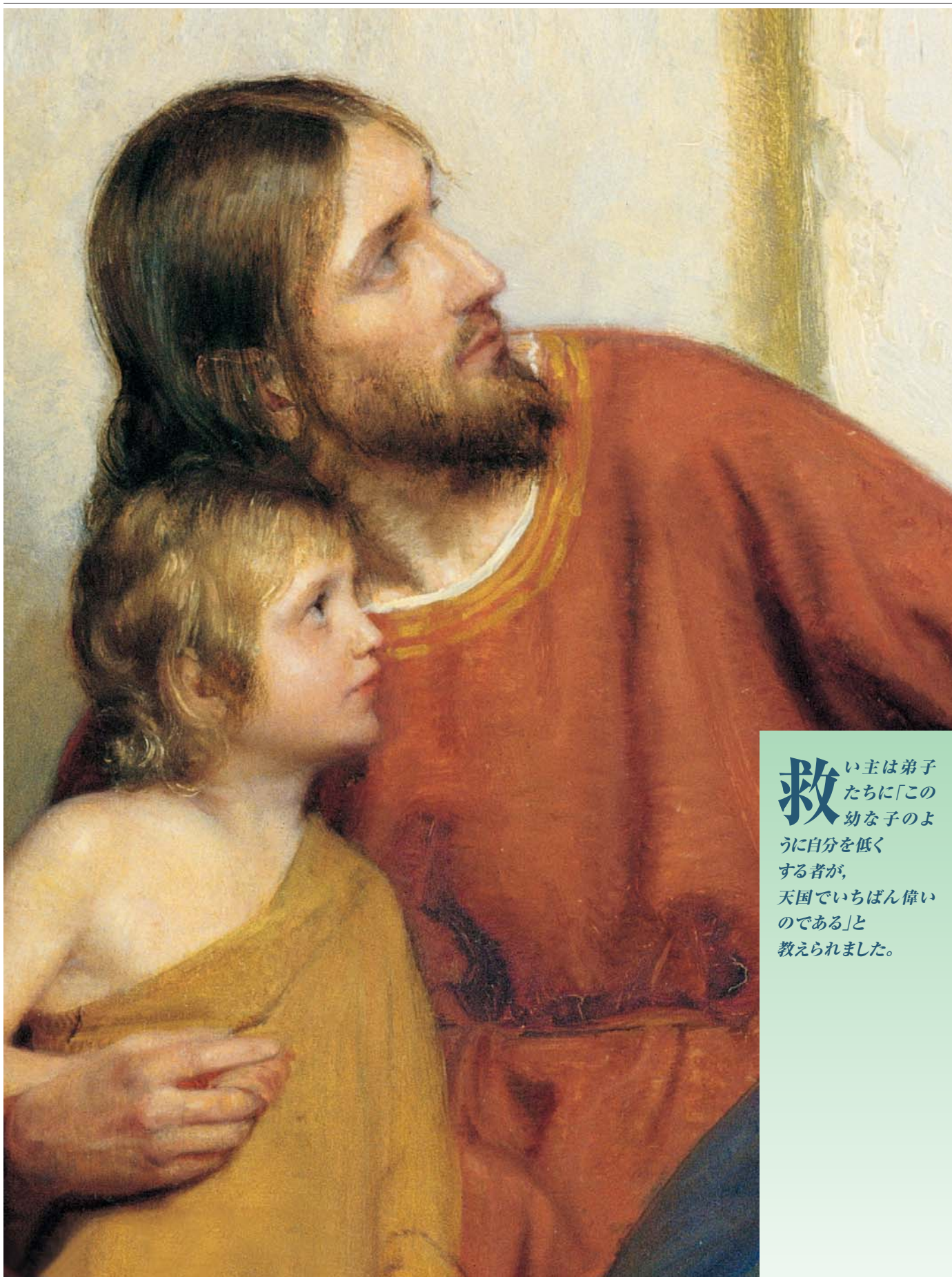
平和をつくり出す人々は皆、幸いである。彼らは神の子と呼ばれるからである。」(3ニーファイ12:2-3, 5, 9。ジョセフ・スミス訳マタイ5:4-5, 7, 11[英文]も参照)

弟子たちが主のもとに来て、「いったい、天国ではだれがいちばん偉いのですか」と尋ねたとき、イエスは幼子^{おきなご}を呼び寄せ、弟子たちをたしなめてこう言われました。「この幼な子のように自分を低くする者が、天国でいちばん偉いのである。」(マタイ18:1, 4)

「あなたがたみんなの中でいちばん小さい者こそ、大きいのである。」(ルカ9:48)

イエスは常に、御父こそが御自身の力と知識の源であることを指摘されました。仮庵の祭のときに、イエスは神殿に入って教えられました。「そこでイエスは彼らに答えて言われた、『わたしの教はわたし自身^{おしえ}の教ではなく、わたしをつかわされたかたの教である。……自分から出たことを語る者は、自分の栄光を求めるが、自分をつかわされたかたの栄光を求める者は真実であって、その人の内には偽りが無い。』(ヨハネ7:16, 18)

左——「病人を癒すイエスのギニスタフ・ドレ画。右——「幼な子をわたしの心に来させよ」の「この一節。カール・シリック・プロビウ画。マニマーク・ヒリスのフレスコ画。ボヘミアにある国立歴史博物館の複製にちなみ複製



救 い主は弟子
たちに「この
幼な子のよ
うに自分を低く
する者が、
天国でいちばん偉い
のである」と
教えられました。

後にイエスは次のように証^{あかし}しておられます。「わたしは自分からは何もせず、ただ父が教えて下さったままを話していた……わたしは、いつも神のみこころにかなうことをしている……わたしは自分の栄光を求めてはいない。」(ヨハネ8:28-29, 50。12:49-50も参照)

偉大な教師である主は、高慢^{かしら}についてしばしば警告されました。イエスはあるパリサイ派の頭^{かしら}の家で夕食を取っておられたとき、上座に座った人が自分は下座の人より優れていると考えているのを御覧になりました(ジョセフ・スミス訳ルカ14:17[英文]参照)。主は一つのたとえを教えて、こう言われました。「おおよそ、自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされるであろう。」(ルカ14:11。18:14も参照)

ヤコブとヨハネの母が、主の栄光の日に主の右と左に座る特権を息子たちに与えてくださるよう願ったとき、イエスは、それは御自身にゆだねられている特権ではないと説明されました。そして、弟子たちが言い争っているのを御覧になり、このように言われました。「あなたがたの間でかしら^{かしら}になりたいと思う者は、僕^{しもべ}とならねばならない。それは、人の子がきたのも、仕えられるためではなく、仕えるため……であるのと、ちょうど同じである。」(マタイ20:27-28。23:11-12; ルカ22:24-27も参照)

イエスは捕らえられて十字架につけられる直前に、弟子たちとともにオリブ山へ向かって歩いていたとき、神聖な謙遜さについてお教えになりました。「わたしはまことのぶどうの木、わたしの父は農夫である。……もし人がわたしにつながっており、またわたしがその人とつながっておれば、その人は実を豊かに結ぶようになる。わたしから離れては、あなたがたは何一つできないからである。」(ヨハネ15:1, 5)

それから間もなく、イエスは偉大な執り成しの祈りの中で、次のように語られました。

「父よ、時がきました。あなたの子があなたの栄光をあらわすように、子の栄光をあらわして下さい。……

わたしは……地上であなたの栄光をあらわしました。……

わたしは、あなたからいただいた栄光を彼ら[主の弟子たち]にも与えました。それは、わたしたちが一つであるように、彼らも一つになるためであります。」(ヨハネ17:1, 4, 22)

謙遜に関する主の模範

救い主は生誕のときから、御自身の行いを通して謙遜についてお教えになりました。万物の偉大な創造主(ヨハネ1:3参照)は、最も粗末な環境にお生まれになりました。イエスは馬屋でお生まれになり、家畜に飼料を与えるために使

うかいばおけに寝かされました。最初に主を訪れたのは、貧しい羊飼いたちでした(ルカ2:7-20参照)。

イエスがガリラヤで奇跡を行い始められると、その評判は地域全体に広がりました。そして大勢の人々が主のもとにやって来ました。病気を癒^{いやす}されることを願う人もいれば、単に興味本位の人もいました。主は病人や苦しんでいる人によく次のように言われました。「あなたの信仰があなたを救ったのです。」これは癒^{いやす}しという奇跡において、癒^{いやす}す者よりも癒^{いやす}される者の役割を強調しています。¹ また一人のらい病人がやって来て「みこころでしたら、きよめていただけののですが」と言う(マルコ1:40)、イエスは彼を癒してこう告げられました。「何も人に話さないように、注意なさい。」(マルコ1:44)イエスは奇跡を行った後に、よくこの指示を繰り返されました。これは主の奇跡が謙遜^{ひそ}さの中で現れ、その多くが密^{ひそ}かなものであるようにという、主の深い願いを反映しています。²

主が5,000人を食べさせるという奇跡を行われると、群集の中のある人々はイエスを王にしたいと思いました。そのような人望や力は、ほとんどの人を厳しい試練に遭わせ、墮落させてきたことでしょう。しかし、イエスは世の称賛という人を酔わせる影響力に目を向けず、一人で山に退かれました(ヨハネ6:15参照)。またあるときイエスは人々の盛大な喝采^{かつさい}に迎えられて、エルサレムに勝利の入城をされました。群集は賛美の言葉を口々に叫び、上着や木の枝を道に敷きました(マタイ21:8-9参照)。しかし、イエスはこの機会に、メシヤの謙遜の象徴として知られていたロバに乗ることを選ばれたのです(ゼカリヤ9:9参照)。

奉仕は常に謙遜さを養う良い機会です。イエスはひざまずいて使徒たちの足を洗われたときに、このことを示されました。「わたしがあなたがたにしたことがわかるか。」主は使徒たちにこうお尋ねになりました。「わたしは手本を示したのだ。……僕はその主人にまさるものではなく、つかわされた者はつかわした者にまさるものではない。」(ヨハネ13:12, 15-16)

最後に、最も激しい苦悶^{くもん}のときに、イエスは御父に従われました。そして、恐らく主の最も謙遜な行為として、十字架につけられるために自らをささげられたのです。イエスの最後の言葉は、謙遜に関する主の教えを象徴しています。イエスは「すべてが終った」という言葉を口に出した後(ヨハネ19:30)、御父の御心が成ったと宣言されました(ジョセフ・スミス訳マタイ27:54[英文]参照)。そして頭を垂れて、息を引き取られたのです。

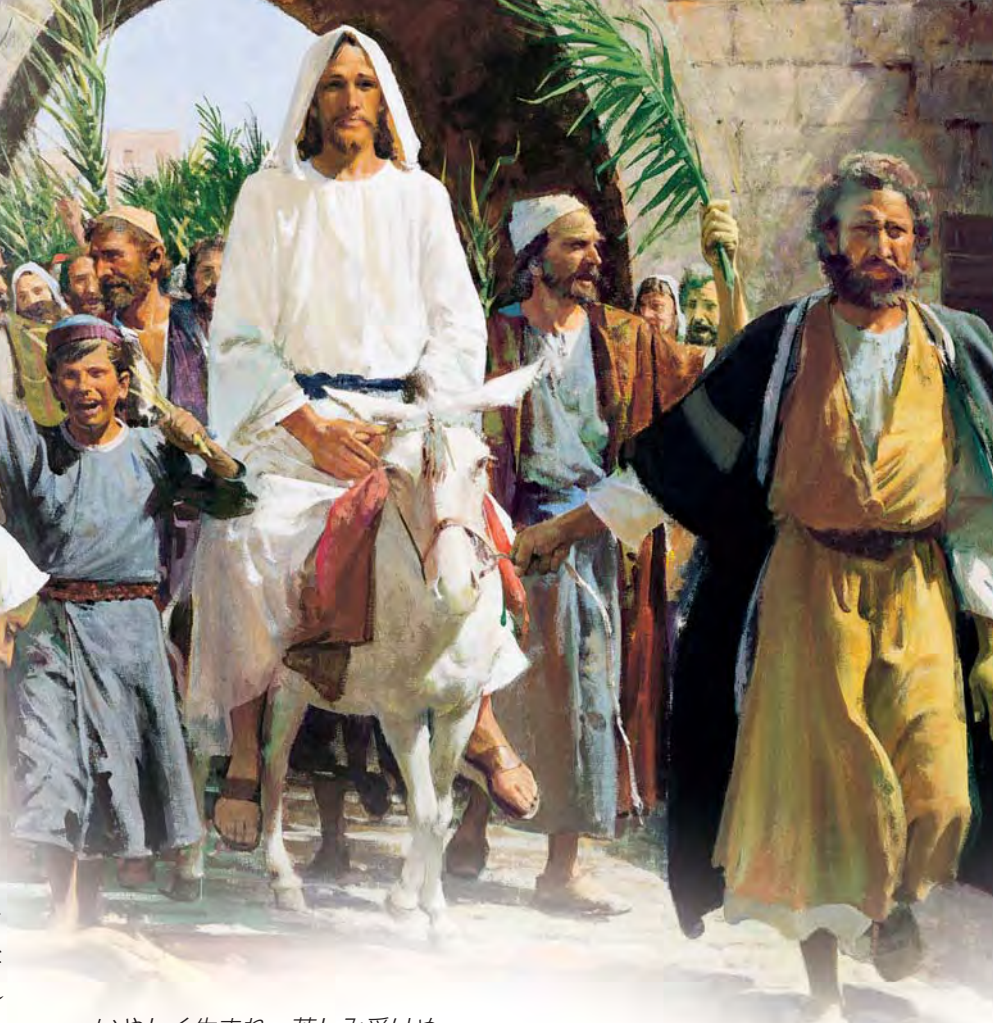
わたしたちの言葉と行い

完全なる主、イエス・キリストは、言葉と模範を通して謙遜の意味をお教えになりました。忠実な真のクリスチャンは、自分の言葉と行いが心の内にある柔和さや悔いる気持ち、また御心への服従を表すものとなるように願っています。

1995年11月2日、ブラジルのサンパウロにあるフランカステークのアントニオ・ベロカルと妻のロゼリーは、1年間忠実に準備した後に、サンパウロ神殿で結び固めを受けるために、5人の子供を連れて出かけました。その途中、悲惨な大事故に遭い、ベロカル姉妹と子供たち全員の命が奪われました。同じ月の22日、アントニオ兄弟は家族との結び固めを受けるために一人で神殿に入りました。わたしにとって彼との面接は、謙遜について忘れることのできない偉大な教訓になりました。アントニオ兄弟は感動的な言葉で、悲しみと苦痛のさなかに感じた慰めについて天の御父と御子イエス・キリストに感謝していることを述べました。また、これから執行される神聖な儀式に感謝していました。アントニオ兄弟は柔和で心のへりくだった人です。

さらにわたしにとって驚くべきことは、年輩の兄弟姉妹や若い宣教師たちが世界中で行っている謙遜な奉仕です。その数は毎日増え続けています。彼らは犠牲を払い、一生懸命に働き、自らの伝道費用を蓄え、清い心と謙遜な霊をもって自身の生活を神にささげています。わたしはまた、謙遜で忠実な聖徒たちによって霊的に鼓舞されています。彼らは正直で勤勉な労働により毎月什分の一と断食献金を監督に納めているのです。

新約聖書の弟子たちは、救い主の比類なき生涯と御言葉について、そして謙遜の模範について証しました。現代の預言者と使徒は、主の生涯が「全人類の歴史の中心である」と証し、「御子という比類ない贈り物を授けてくださった神に感謝しています」と述べています。³



いやしく生まれ 苦しみ受けぬ
今は栄えもて 世を治めんと
主は来たりたもう

人に呑まれ 血と涙にて
苦しみし主は 今、栄えもて
世の王となる⁴

主は生きておられます。主の足跡をたどるわたしたちの旅において、イエスはいつの時代にあっても、常に最も偉大な謙遜の道標であられるのです。■

アトス・M・アモリム長老は、2002年10月に七十人第二定員会の会員を解任されました。

注

1. マタイ9：22参照。15：28；マルコ10：52；ルカ17：19も参照
2. マタイ9：30；マルコ7：36；8：26；9：9；ルカ8：56参照
3. 「生けるキリスト——使徒たちの証」『リアホナ』2000年4月号、2-3
4. 「いやしく生まれ」『賛美歌』113番、1節、3節

イエスがエルサレムに勝利の入城をされたとき、群集は賛美の言葉を口々に叫び、自分の上着や木の枝を道に敷きました。イエスは、メシヤの謙遜の象徴として知られていたロバに乗ることを選ばれました。

現代の奇跡

ニトカ・シルビア・カリスト

ある土曜の午後、翌日の日曜学校の予習をすることにしました。テーマは「奇跡」です。

「もし奇跡が必要だとしたら、まさに今だわ」と、わたしは思いました。父が亡くなり、残された母とわたしたちは経済

的に苦しい日々を過ごしていたのです。

わたしは幼いころからずっと、姉や妹たちと一緒に馬のたてがみやしっぽの毛で民芸品を作っていました。馬の毛を洗い、きれいな色に染めて、蝶やネズミ、ツバキカズラ（チリの国花）などを編むのです。チりにしかないとてもきれいな民芸品の出来上がりです。夏の工芸市で



たくさん売れるように、冬の間は毎日のように作り続けたものです。

チリ中の景気が悪かったある年のこと、わたしたちの作品も大きな打撃を受けました。南部の観光都市テムコで開かれる工芸市は、毎年我が家の収入の大半を支えるイベントです。けれどもその年ばかりは出店の依頼が来ませんでした。事務局に問い合わせてみましたが、店を出す場所はないと言われました。出店できなければ、我が家は大変なことになります。わたしたちは悩みました。

日曜学校の予習をしたのは、そんな土曜の午後ですが、そのおかげで心がうそのように晴れたのです。最初に読んだのは、モルモン書第9章19節でした。「神は神であることをやめてはおられず、今も奇跡の神であられる。」この言葉です。21節を読むと、さらに平安になりました。「何も疑わないでキリストを信じる者には、キリストの名によって御父に求めるものは何でも与えられるであろう。」

わたしたち家族が必要としている奇跡きせきについて考え、ついに、窮状きゆうじょうを工芸市の関係者に理解してもらうために4時間かけてテムコへ行こうと決めました。

テムコ市の文化事業部に着いた途端に、がっかりするような光景が目に入りました。出店を希望する大勢の人々が、ことごとく断られているのです。それでもまだ、主がついていてくださると感じ

ていました。

いよいよ責任者と話す番が来ました。しかし、「まだ最終決定ではないけれど、出店できる可能性はきわめて低いですよ」という、そっけない言葉しか返ってきません。出店できなければ、この冬わたしたち家族はやっていけないと主張しましたが、まるで壁に向かって話しているように、何の反応もありません。部屋を出て行くわたしは思わず、「わたしは奇跡を信じています」と言いました。

夫に電話をかけて、一緒に断食してほしいと頼みました。日曜学校のあの言葉を何度も心の中で唱えました。「〔神は〕奇跡の神であられる。」わたしには奇跡が必要でした。今すぐ、必要だったので

文化事業部で、わたしは6時間待ちました。一刻一刻まるで針で刺されるようでした。やがて、チリ中の工芸作者が会場にやって来ました。国外からの参加者もいました。工芸市の開催です。のどを詰みこころまらせながら祈りました。「御心が行われますように。」ふいに平安な気持ちがして、もう一度責任者に話してみようという気持ちになりました。

事務室に入ると、何と6時間前とは別人のように丁寧な口調で、「出店できますよ」と言われたのです。わたしはもう一度その責任者に言いました。「奇跡を信じていました」と。

工芸市に出店できたおかげで、必要なお金を得ることができました。それに、神が今でも奇跡を起こされるとじかに知ることができました。神から頂くすべてのものを通して、日に日に信仰が強められていると感じます。■

ニトカ・シルビア・カリストは、チリ・サンティアゴ・インデペンデンシアステーク、カリオンワードの会員です。

家族による集中治療

パメラ・スティーンヘク

5 番目の子供のアンジェリケは、生まれて2時間したころから泣き声が止まらなくなり、そのまま見る見るうちに全身紫色になりました。このままでは大変なことになる、と思いました。

検査の結果、アンジェリケはB群連鎖球菌に感染していることが分かりました。新生児にとって危険な病気です。一刻も早く、設備の整った病院に移さなければなりません。生まれたばかりのわが子が救急車で運ばれることになってしまい、わたしは不安に押しつぶされそうでした。

2日後に産婦人科を退院したわたしは、そのままアンジェリケに会いに行きました。新生児集中治療室に行く途中、怖くて体が震えました。二人の医師と大勢の看護師に取り囲まれ、小さな体の至る所に医療装置が取り付けられた娘が見えた途端、思わず目を背けてしまいました。

部屋の隅へ医師を呼んで、尋ねました。「娘は生きられるのですか。」険しい表情の医師はわたしの目を見て言いました。「現時点では何とも言えません。とにかく全力を尽くします。」そして、家に帰って体を休めるように勧められました。

夫の運転で家に帰る途中、わたしたちは沈黙していました。夫もわたしも重圧感に押しつぶされそうでした。帰宅後夫は、娘に祝福を与え、集中治療室の外で一晩中娘に付き添うために、再び病院へ向かいました。

子供を寝かせる時間になり、わたしは4人の子供をベッドに連れて行きました。7歳になる長女はアンジェリケを抱けな

文 文化事業部の責任者から、工芸市に出店できる可能性はきわめて低いと言われました。けれどもわたしたちは出店してお金を得る必要がありました。それで、奇跡が起きることを信じ続けたのです。

いと言って泣きました。アンジェリケはもしかしたら死んでしまうかもしれないと説明しましたが、幼い子供たちにはよく理解できませんでした。

わたしは自分の部屋に戻ると、これまでの生涯で経験したことがないほど真剣に祈りました。天のお父様に、アンジェリケをどれほど愛しているか伝えました。けれども、もし御心であるならば、アンジェリケがお父様のもとへ行けるようにと祈りました。わたしたちは永遠に家族であることを知っており、神殿で結婚することができて感謝していると話しました。その瞬間に、わたしは平安と愛に包まれ、幸せな気持ちにさえなりました。決して忘れられないような気持ちでした。

それから、「アンジェリケはわたしたちの声を聞く必要がある」という思いが心にはっきりと浮かんできました。そういえば子供たちは、おなかの中にいるアンジェリケによく話しかけていたのです。家族みんなで祈りをささげるとき、一緒に夕食を取るとき、わたしが歌っているとき、アンジェリケはいつもわたしのおなかの中でその声を聞いていました。でも今アンジェリケは、病院でまったく知らない人々の声しか聞いていないのです。

わたしは子供たちを起こしました。みんな喜んでアンジェリケへのメッセージをテープに吹き込みました。みんなでよく歌った初等協会の歌を歌い、アンジェリケをどれほど愛しているかをテープに向かって話しました。元気になったらみんなで世話をしあうし、何でも一緒にしようとテープに向かって語り

かけました。翌朝テープレコーダーを持って病院へ行き、看護師たちに訳を話し、アンジェリケの保育器の端に置いて、ずっと再生し続けてもらいました。

その日、もう一度病院に行くと、看護師が興奮した様子でやって来て、奇跡が起きたと言うのです。

アンジェリケに取り付けられていた人工呼吸装置は、いつ自力呼吸したかを記録していました。あのテープを再生している間、アンジェリケは2度に1度は自力で呼吸していました。テープが止まると、自力呼吸も止まり、人工呼吸器による呼吸に変わっていました。生まれたばかりの子供が、テープの声に反応して元気になることにわたしはとても驚きました。それに気づいた看護師たちはテープを一日中再生してくれました。アンジェリケはゆっくりと回復して、2週間後には帰宅を許されるまでになったのです。

わたしは祈りと家族の愛に力があることを固く信じています。天の御父がわたしたちの祈りを聞いてくださること、わたしたちが御心を求めるならば、聖霊を通して導きを与えてくださることを証します。■

パメラ・スティーンヘクはジョージア州マリエッタ東ステーク、アラトナーワードの会員です。

生 まれたばかりの妹が重い病
気で苦しんでいる!子供た
ちは順々にメッセージを
録音しました。みんなでよく歌った
初等協会の歌を歌い、
彼女をどれほど愛しているかをテープ
に向かって話しかけました。



決してあきらめない

ジェーソン・ラカヨ

1970年代の出来事です。当時13歳だった父、ハラシオ・ラカヨの生活は、貧しいものでした。ある日、ハラシオは母親から怒られて、このままでは何をしても成功できないだめな人になると言われました。その言葉に傷ついたハラシオは何か善いことをしなければならぬと思いはじめました。自分を変えようと決意したのです。

それから間もなくハラシオは二人の宣教師と出会い、宣教師たちはイエス・キリストの真の福音について話してくれました。ハラシオは詳しく知りたい、そしてバプテスマを受けたいと強く思いました。けれども父親に話したところ、怒られてしまいました。家族伝来の宗教があるのに、ほかの教会の会員になるなんて絶対に許さないとされたのです。

そこでハラシオは、姉のマリアに父親に執り成してくるよう頼みます。父親はマリアの意見に耳を傾けることが多かったからです。マリアはハラシオから教会について聞き、バプテスマを受けたがっていると知ると、助けることを約束しました。マリアは承諾書を手に父親のもとへ行くと、「父親として息子にしてあげられるいちばん良いことは、この用紙にサインすることです」と言い、父を説得してくれました。

ようやく父親の承諾をもらって、ハラシオはバプテスマを受けました。しかし間もなく父親は後悔し始め、ハラシオに教会へ行くことを禁じてしまいました。再度許してくれるように頼んだところ、怒った父親は、ハラシオに向かって、家を出て二度と帰って来ると言いまし

た。こうしてハラシオはおばの家に住むことになったのです。

それから約1年後のある晩、ハラシオは夢を見ました。父親が非常に重い病気にかかって、ハラシオを呼んでいる夢です。翌朝教会へ行く前にその夢についておばに話しました。おばは単なる夢だから、気にすることは無いと言いました。

ハラシオが教会から戻ると、おばはひどく動揺した様子でこう言いました。「なぜおまえに分かったか知らないけれど、お父さんが事故に遭ってけがをしたそうだよ。おまえを呼んでいるわ。」ハラシオが駆けつけると、父親は自分のしたことをわびて、ハラシオが教会へ行くことにこれからは反対しないと申しました。

最終的にハラシオの家族と友達が大量の教会員になりました。現在、ハラシオと妻のアイダ、それに4人の息子たちは活発な教会員です。二人の息子が宣教師として働いており、もう一人が伝道から帰還したところでした。

少年時代のハラシオはどうして信仰を保つことができたのでしょうか。ハラシオは主がそばにおられること、主が決して自分をお見捨てにはならないことを忘れなかったのです。わたしの父、ハラシオは決してあきらめませんでした。

主はわたしの父、ハラシオ・ラカヨに対してされたように、わたしたちが霊的な戦いの中にあるときに力づけてくださることを知っています。■

ジェーソン・ラカヨはブラジル・リオデジャネイロ・ジャカレバグアステーク、カモリムワードの会員で、現在チリ・オソルノ伝道部で宣教師として働いています。

宣教師としての新生活

ロバート・A・ヘーグ

退職後、わたしは妻とともに快適な生活を送っていました。神殿で働き、ワードやステークの責任を果たし、子供や孫、そしてそれぞれ夫を亡くした母と義母を訪問するという充実した日々でした。これ以上の生活は考えられませんでした。

けれどもそんなわたしたちの心の中にある思いがわいてきました。伝道に出ることを真剣に考える時が来たのです。妻もわたしもそのことには気づいていました。程なく伝道に出る決心をしましたが、宣教師申請書を提出する前に、まずしなければならないことを書き出しておこうと考えました。念入りにリストを作り、一つ一つ実行し始めたのです。

2か月が過ぎましたが、実行リストは減るどころか増えていました。「大丈夫だ。頑張って項目を減らしていこう」と考えましたが、一向に減りません。伝道に出る気持ちはあるのですが、未知への恐れから、一つの項目を成し遂げないうちに新しい項目をリストに付け加えていたのです。

ある日の朝、実行リストに目を通してから、わたしはジェームズ・E・タルメージ長老（1862-1933年）の『キリスト・イエス』（1995年度版）を勉強していました。そのときです、一つの文章が目飛び込んできました。「口実は見つけやすいものである。口実は路傍の雑草のようにいつでも容易に、また幾らでも出てくる。しかし、このサマリヤ人は、やって来て傷を負った男の惨めな様子を見たとき、何の口実も設けなかった。」（424）

わたしは強く心を打たれ、台所へ走って行って妻にその言葉を見せました。妻も大きな衝撃を受けました。次に何をすべきか、疑問の余地はありませんでした。

直ちに実行リスト（実は今となっては言い訳リストと呼んでいるのですが）を破り捨てると、宣教師の召しを受けるために必要な手続きを始めました。

ここまで行動したら、それから先はあれよあれよという間に事が運び、気がついてみるとわたしたちはシンガポール伝道部で充実した日々を過ごしていました。わたしたちの割り当ては教会の支部で新任の指導者を訓練することです。まずスリランカへ、次にマレーシアへ行き

ました。故郷の家族はわたしたちがいなくてもうまくやっていました。間もなく、年配の宣教師がどれほど必要とされているかが分かってきました。

伝道を終えて帰還する2日前の夕べ、わたしたちがマレーシアで奉仕した二つの支部の会員たちがパーティーに招待してくれました。まったく予期せぬ送別会でした。集会所の外に出ると、手作りの中国風の提灯（ちようちん）を手にした地元の会員たちがわたしたちを取り巻いて、中国語で「神よ、また逢うまで」（『賛美歌』85番）を歌ってくれました。それは忘れることができない光景となりました。現在でもこのときのことを話す度に涙が込み上げ

てきます。恐れという言い訳リストを盾にしてかけがえのない経験を失わなかったことにわたしたちは心から感謝しています。■

ロバート・A・ヘーグはワシントン州セラステーク、ヤキマ第2ワードの会員です。

伝 道を終えるときに、地域の
会員たちは手作りの中国風
の提灯（ちようちん）を手にして、
中国語で「神よ、また逢うまで」を
歌ってくれました。



御存じでしたか？

ハロルド・ビンガム・リー大管長

第11代の大管長であるハロルド・B・リーは、1899年3月28日、アイダホ州クリフトンに生まれました。リー家にはピアノがあり、ハロルドは幼いころより音楽を愛するようになりました。ピアノもオルガンも弾けるようになりました。後に、お金を余計に稼げるようダンスバンドのトロンボーン奏者を務めました。

17歳のとき、この未来の預言者は学校の教師になりました。そして18歳で、4クラスで構成される学校の校長になるよう要請されました。4年間教師を務めた後、ハロルド・B・リーはヒーバー・J・グラント大管長（1856-1945年）より西部諸州伝道部で働くよう召されました。伝道から戻ると、再び教職に就き、後年ソルトレーク・シティー委員会で働

きました。大恐慌が始まると、ステーキ会長の召しを果たす傍ら、現在の教会福祉プログラムを確立するよう依頼を受けました。

ハロルド・B・リーは42歳で使徒として召され、1972年に大管長に聖任されました。1年半という短い期間の後、74歳で亡くなりました。ゴードン・B・シンクレー大管長は、リー大管長についてこのように述べました。「真理について証を述べるときは、神の僕として、その責任に対し、いささかもたじろぐことはない。」（『歴代大管長の教え——ハロルド・B・リー』 xviii）



ピアノの前のハロルド・B・リー。4人の使徒たち（マーク・E・ピーターセン、マシュー・カウリー、スペンサー・W・キンボール、エズラ・タフト・ベンソン）に囲まれている。



それは3月の出来事でした

1830年3月26日——モルモン書の初版5,000部がニューヨーク州パルマイラでE・B・グランディンにより3,000ドルで印刷されました。

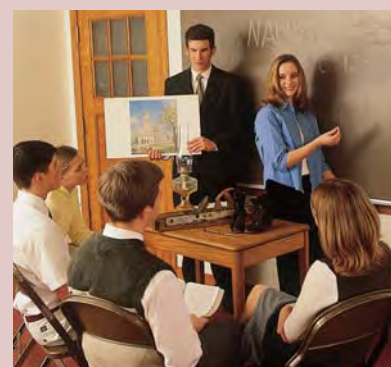
1833年3月18日——預言者ジョセフ・スミスはシドニー・リグドンとフレデリック・G・ウィリアムズを副管長に任命し、大管長会を組織しました。

1839年3月——リバティーで投獄されていた預言者ジョセフ・スミスは、聖徒たちの受けている苦難について主に訴えました。そのときの祈りの言葉と啓示、

預言の一部が教義と聖約第121章、第122章および第123章に記されています。

1842年3月17日——預言者ジョセフ・スミスによって扶助協会が組織されました。エマ・スミスが初代の扶助協会会長となりました。

1961年3月12日——英語圏外の初めてのステーキが、オランダのハーグで組織されました。



指導者へのヒント

レッスンや集会、すべてにおいて時間を守りましょう。少し早めに着くことができればなおよいでしょう。時間を守ることで模範となるだけでなく、瞑想し、自分を備えることができるのです。急いでいるときに御霊を感じることは難しいので、常に時間に遅れないよう目標を立てましょう。■

上——左から：モルモン書の写真／クレグ・ダイヤモンド
シドニー・リグドン、ジョセフ・スミス、フレデリック・G・ウィリアムズの肖像画、「リバティーの監獄でのジョセフ」リス・レモン・スウィンドル画
「扶助協会の設立」ナディーン・バートン画
教えている写真／マシュー・ライアー、写真はこの記事の登場人物本人ではありません。

『リアホナ』 2003年3月号 の活用法

レッスンのためのアイデア

●「清くあるべき理由」6ページ——ニール・A・マックスウェル長老は、教員が純潔の律法を破ることにに関して世の人々と同じ懸念を幾つか抱いていると説明しています。しかし、マックスウェル長老は同時に、わたしたちが「第7の戒めを守る理由は、……これらの……心配事を超越したもので」あるとも教えています。このような気高い理由にはどんなものがありますか。

●「すべての善良で美しいもの」14ページ——神殿と一般の建物の写真を用意し、建物の外観とその目的との関係について話し合い、慎み深さについて教えます。それから、建物と服装を比較します。

●「的のかなたに目を向ける」20ページ——的のかなたに目を向けてしまう原因について話し合ってください。このことがつまずきの石になってしまう具体的な例を尋ねます。

●「エミリーおばあさんのめんどり」F6ページ——エミリーおばあさんのめんどりの話を紹介します。それから、同じような話があるか尋ね、自分にとって不都合な場合でも、犠牲をささげることを通して人々を祝福できることがよく分かるようにします。

今月号に採り上げられているテーマ

Fは「フレンド」の略

贖い	F10
イエス・キリスト	20, 38, F9, F10
祈り	25, 42, F6, F14
癒し	42
永遠の命	26
教え	2, 14, 48
改宗	42, F14
開拓者	F6
家族関係	2, 14, 25, 30
家庭の夕べ	2, 48
家庭訪問	25
奇跡	42
教会歴史	47
謙遜	38
才能	F4
指導性	32, 47, 48
従順	6, 20, F2
純潔	6
初等協会	F4
信仰	42
神性の特質	14, 19, F4
神殿と神殿活動	F16
新約聖書	38, F10
真理	20
創造	F9
備え	25
慎み深さ	14
伝道活動	30, 42
扶助協会	32
奉仕	32, F2, F6
ホームティーチング	5
目標	26
友情	13, 32
霊性	25
若い女性	32

夫婦宣教師の体験談を募集しています

伴侶とともに伝道に出たことはありますか。人々が伝道の祝福について考えるきっかけとなるような夫婦宣教師の体験談を募集しています。皆さんの体験談をCouple Missionaries, Liahona, Floor 24, 50 East North Temple Street, Salt Lake City, UT 84150-3223, USA, またはEメールで cur-liahona-imag@ldschurch.org までお送りください。氏名、住所、電話番号、ステーク/地方部、ワード/支部を明記してください。

写真/スティーブ・バンダーソン、写真は、この記事の登場人物本人ではありません。





「わたしの父の家」ハリー・アンダーソン画

「そして3日の後に、イエスが宮の中で教師たちのまん中にすわって……おられるのを見つけた。
聞く人々はみな、イエスの賢さやその答に驚嘆していた。」(ルカ2：46-47)
バシフィック・プレス・パブリッシング・アソシエーションの厚意により掲載



「自分の子供たちがこの時代の慎みのない流行に抵抗できるように助けるとき、
わたしたちは同時に『すべての善良で美しいものを増し加えるように』助けているのです。
そして、^{みたま}神殿と永遠の命の祝福に至る道にとどまる子供たちが、
もっと豊かに御霊を感じられるように助けているのです。」
「すべての善良で美しいもの」14ページ参照

